

# 労働災害のあらまし

平成21年

石川労働局

## 目次(業種別)

<b>製造業</b>			
No.1	清掃中、開けてあった蓋につまづき転倒	転倒	2ページ
No.2	ハンマーで破片が飛来	飛来、落下	2ページ
No.3	清掃中に機械と接触	激突され	3ページ
No.4	倒れてきた機械に激突される	激突され	3ページ
No.5	ラジアルボール盤への巻き込まれ	はさまれ、巻き込まれ	4ページ
No.6	繊維ロール機の高回転軸に作業服が巻き込まれ窒息死	はさまれ、巻き込まれ	4ページ
No.7	切削屑を取り除こうとしたところ刃に接触する	切れ、こすれ	5ページ
No.8	回転釜が傾きあふれた熱湯に接触	高温・低温の物との接触	5ページ
No.9	苛性ソーダで化学熱傷	有害物等との接触	6ページ
No.10	長期にわたる負荷作業で腱鞘炎	動作の反動、無理な動作	6ページ
No.11	ゴミを持ち上げて腰痛	動作の反動、無理な動作	7ページ
No.12	吊り上げた荷を降ろし腰をひねった	動作の反動、無理な動作	7ページ
<b>建設業</b>			
No.13	瓦葺替工事中に屋根から墜落	墜落、転落	8ページ
No.14	ドラグショベルを移動中、転倒	転倒	8ページ
No.15	丸のこ盤でクサビが飛来	飛来、落下	9ページ
No.16	ロープが切れて資材が落下	飛来、落下	9ページ
No.17	フックが外れ敷鉄板が倒壊	崩壊、倒壊	10ページ
No.18	ミニバックホーのクローラーにはさまれ	はさまれ、巻き込まれ	10ページ
No.19	携帯用丸のこ盤がはね、指を負傷する	切れ、こすれ	11ページ
No.20	トラック運転中に横転	交通事故(道路)	11ページ
No.21	機械音が共鳴する場所で作業し難聴	その他	12ページ
No.22	崖の上からバランスを崩し飛び降り	激突(飛び降り事故)	12ページ
No.23	重量物を取扱中に足をひねって骨折	動作の反動、無理な動作	13ページ
<b>運輸業</b>			
No.24	トラック荷台とホームの間から墜落	墜落、転落	13ページ
No.25	バランスを崩しカゴ車が倒壊	崩壊、倒壊	14ページ
No.26	ドラグショベルでつり上げた荷に激突される	激突され	14ページ
No.27	操作ボタンの改造により指を切断	切れ、こすれ	15ページ
No.28	荷降ろし作業中に熱中症	高温・低温の物との接触	15ページ
No.29	凍結した路面でスリッパ衝突	交通事故(道路)	16ページ
No.30	点滅信号の交差点で衝突	交通事故(道路)	16ページ
No.31	フォークリフト後進中に運転者の手が鉄柱に激突	激突(衝突事故)	17ページ
No.32	トラック荷台に積んだコンテナから飛び降りて道路に足を強く激突	激突(飛び降り事故)	17ページ
<b>林業</b>			
No.33	伐採木が他の作業者に倒壊	崩壊、倒壊	18ページ
No.34	枝打ち機による指骨折	切れ、こすれ	18ページ
<b>商業</b>			
No.35	はしごが滑り、店員が墜落	墜落、転落	19ページ
No.36	止まっていた運搬車が動き出し、止めようとして転倒	転倒	19ページ
No.37	敷かれていたカバーにつまづき転倒	転倒	20ページ
No.38	フォークリフトにはさまれ	はさまれ、巻き込まれ	20ページ
No.39	床に穴があいたまま放置していたため踏み抜いた	踏み抜き	21ページ
No.40	給食調理場にて一酸化炭素中毒	有害物等との接触	21ページ
<b>接客娯楽業</b>			
No.41	ガスコンロを使っていて一酸化炭素中毒	有害物等との接触	22ページ
No.42	移動中の大鍋が傾き中身の高温の液体に接触	高温・低温の物との接触	22ページ
No.43	スライサーで指を切断	切れ、こすれ	23ページ
No.44	窓ふき作業中にバランスを崩して2階から墜落	墜落、転落	23ページ
<b>保健衛生業</b>			
No.45	滑り台から飛び降り着地に失敗して足を骨折	激突(飛び降り事故)	24ページ
No.46	保育中に園児と接触し腰部を捻挫	その他	24ページ
No.47	福祉施設にて利用者をベッドから起こそうとして腰痛	動作の反動、無理な動作	25ページ
<b>その他</b>			
No.48	フォークリフト上のパレットから墜落	墜落、転落	25ページ
No.49	ビルの窓ガラス清掃員が墜落	墜落、転落	26ページ
No.50	ダンプトラックごと斜面から転落	墜落、転落	26ページ
No.51	原動機自転車を発進時、共に転倒	転倒	27ページ
No.52	清掃中、足を滑らせ転倒	転倒	27ページ
No.53	停車中の車両が動き出し激突される	激突され	28ページ
No.54	丸のこ盤で、指を切断	切れ、こすれ	28ページ
No.55	発掘調査現場にて熱中症	高温・低温の物との接触	29ページ
No.56	道路横断中にひかれる	交通事故(道路)	29ページ
No.57	コンテナを持ち上げたところ腰痛	動作の反動、無理な動作	30ページ

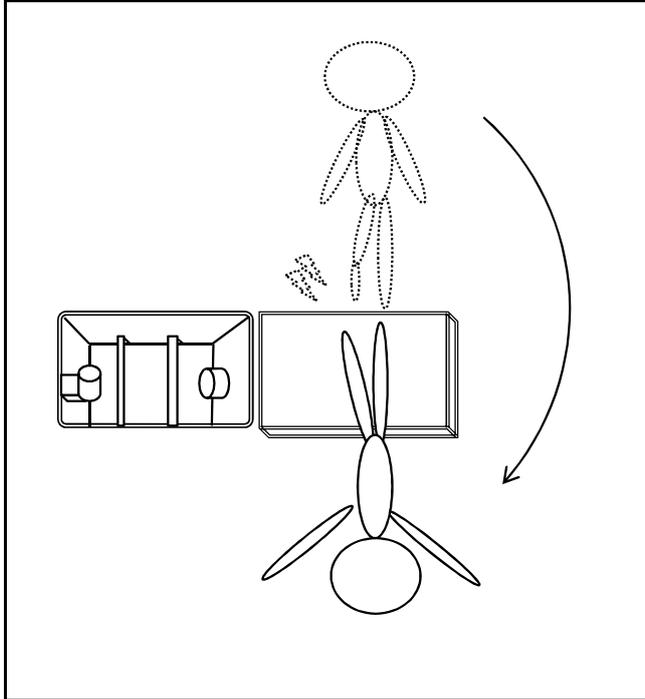
## 目次(事故の型別)

<b>墜落、転落</b>			
No.13	瓦葺替工事中に屋根から墜落	建設業	8ページ
No.24	トラック荷台とホームの間から墜落	運輸業	13ページ
No.35	はしごが滑り、店員が墜落	商業	19ページ
No.44	窓ふき作業中にバランスを崩して2階から墜落	接客娯楽業	23ページ
No.48	フォークリフト上のパレットから墜落	その他	25ページ
No.49	ビルの窓ガラス清掃員が墜落	その他	26ページ
No.50	ダンプトラックごと斜面から転落	その他	26ページ
<b>転倒</b>			
No.1	清掃中、開けてあった蓋につまずき転倒	製造業	2ページ
No.14	ドラグショベルを移動中、転倒	建設業	8ページ
No.36	止まっていた運搬車が動き出し、止めようとして転倒	商業	19ページ
No.37	敷かれていたカバーにつまずき転倒	商業	20ページ
No.51	原動機自転車が発進時、共に転倒	その他	27ページ
No.52	清掃中、足を滑らせ転倒	その他	27ページ
<b>飛来、落下</b>			
No.2	ハンマーで破片が飛来	製造業	2ページ
No.15	丸のこ盤でクサビが飛来	建設業	9ページ
No.16	繊維ロープが切れて資材が落下	建設業	9ページ
<b>崩壊、倒壊</b>			
No.17	フックが外れ敷鉄板が倒壊	建設業	10ページ
No.25	バランスを崩しカゴ車が倒壊	運輸業	14ページ
No.33	伐採木が他の作業者に倒壊	林業	18ページ
<b>激突され</b>			
No.3	清掃中に機械と接触	製造業	3ページ
No.4	倒れてきた機械に激突される	製造業	3ページ
No.26	ドラグショベルでつり上げた荷に激突される	運輸業	14ページ
No.53	停車中の車両が動き出し激突される	その他	28ページ
<b>はさまれ、巻き込まれ</b>			
No.5	ラジアルボール盤への巻き込まれ	製造業	4ページ
No.6	繊維ロープ機の回転軸に作業服が巻き込まれ窒息死	製造業	4ページ
No.18	ミニバックホーのクローラーにはさまれ	建設業	10ページ
No.38	フォークリフトにはさまれ	商業	20ページ
<b>切れ、こすれ</b>			
No.7	切削屑を取り除こうとしたところ刃に接触する	製造業	5ページ
No.19	携帯用丸のこ盤がはね、指を負傷する	建設業	11ページ
No.27	操作ボタンの改造により指を切断	運輸業	15ページ
No.34	枝打ち機による指骨折	林業	18ページ
No.43	スライサーで指を切断	接客娯楽業	23ページ
No.54	丸のこ盤で、指を切断	その他	28ページ
<b>踏み抜き</b>			
No.39	床に穴があいたまま放置していたため踏み抜いた	商業	21ページ
<b>高温・低温の物との接触</b>			
No.8	回転釜が傾きあふれた熱湯に接触	製造業	5ページ
No.28	荷降ろし作業中に熱中症	運輸業	15ページ
No.42	移動中の大鍋が傾き中身の高温の液体に接触	接客娯楽業	22ページ
No.55	発掘調査現場にて熱中症	その他	29ページ
<b>有害物等との接触</b>			
No.9	苛性ソーダで化学熱傷	製造業	6ページ
No.40	給食調理場にて一酸化炭素中毒	商業	21ページ
No.41	ガスコンロを使っていて一酸化炭素中毒	接客娯楽業	22ページ
<b>交通事故(道路)</b>			
No.20	トラック運転中に横転	建設業	11ページ
No.29	凍結した路面でスリップし衝突	運輸業	16ページ
No.30	点滅信号の交差点で衝突	運輸業	16ページ
No.56	道路横断中にひかれる	その他	29ページ
<b>激突</b>			
No.31	フォークリフト後進中に運転者の手が鉄柱に激突	運輸業	17ページ
No.22	崖の上からバランスを崩し飛び降り	建設業	12ページ
No.32	トラック荷台に積んだコンテナから飛び降りて道路に足を強打	運輸業	17ページ
No.45	滑り台から飛び降り着地に失敗して足を骨折	保健衛生業	24ページ
<b>動作の反動、無理な動作</b>			
No.10	長期にわたる負荷作業で腱鞘炎	製造業	6ページ
No.11	ゴミを持ち上げて腰痛	製造業	7ページ
No.12	吊り上げた荷を降ろし腰をひねった	製造業	7ページ
No.23	重量物を取扱中に足をひねって骨折	建設業	13ページ
No.47	福祉施設にて利用者をベッドから起こそうとして腰痛	保健衛生業	25ページ
No.57	コンテナを持ち上げたところ腰痛	その他	30ページ
<b>その他</b>			
No.21	機械音が共鳴する場所で作業し難聴	建設業	12ページ
No.46	保育中に園児と接触し腰部を捻挫	保健衛生業	24ページ

## 災害事例 1 清掃中、開けてあった蓋につまずき転倒

業種	食料品製造業	年齢	68歳	職種	調理補助
災害の種類	転倒	傷病名	膝骨折	休業	60日

### 状況図



### 労働災害発生状況

床清掃のため、床上の蓋を開け、そのままの状態  
で作業中、他の労働者がその蓋につまずき転倒し  
た。

### 災害発生原因

床上の蓋を開け、そのままの状態としていた  
こと。

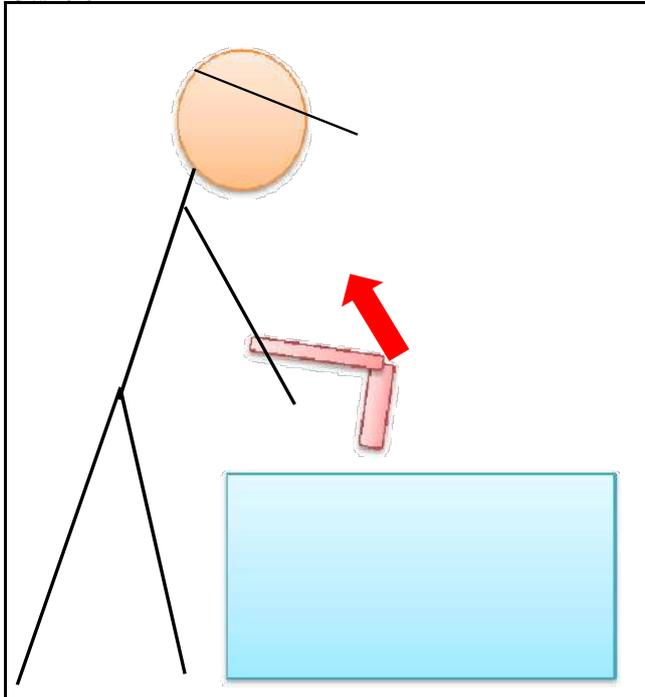
### 再発防止対策

作業が終了した後は、蓋を所定の場所に戻すこ  
と。  
作業中の場合は、「清掃中」などの表示を行  
い、他の労働者に注意を促すこと。

## 災害事例 2 ハンマーで叩いた物の破片が飛来

業種	一般機械器具製造業	年齢	50代	職種	機械加工
災害の種類	飛来、落下	傷病名	右眼角膜穿孔	休業	2ヶ月

### 状況図



### 労働災害発生状況

工場内で、ハンマーで品物をたたいていたら、破  
片が飛散してしまい、右眼に刺さった。

### 災害発生原因

破片が飛散する状態の品物をハンマーでたた  
いたこと。  
ハンマーでたたく際に防護眼鏡を着用してい  
なかったこと。

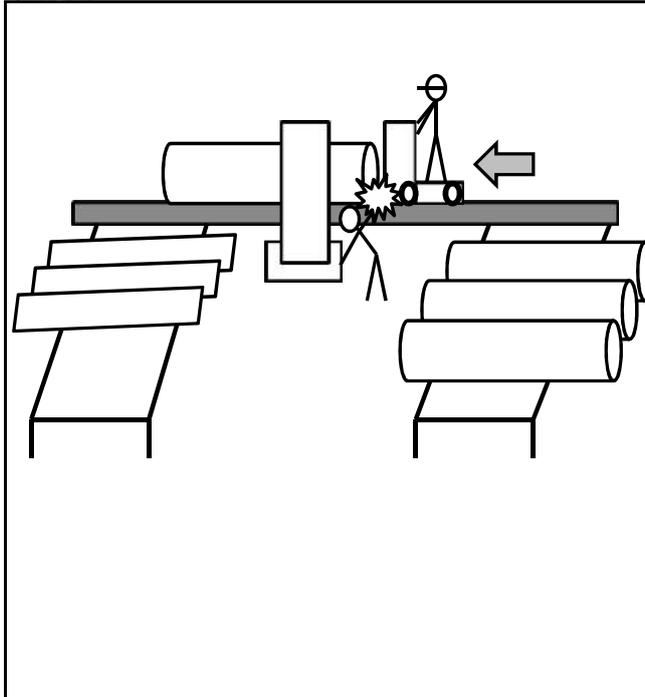
### 再発防止対策

できるだけ破片が飛散ないように品物をハ  
ンマーでたたくこと。  
ハンマーでたたく際に防護眼鏡を着用するこ  
と。

災害事例 3 清掃中に機械と接触

業種	製材業	年齢	50代	職種	製材工
災害の種類	激突され	傷病名	左第3.4.5指挫滅創	休業	2ヶ月

状況図



労働災害発生状況

自動送材車式帯のご盤の周囲（送材車、原木台及び本体付近）を清掃するため、製材車が走るレール上に手をかけて作業を行っていた。その際、被災者が原木の陰で清掃していたため、送材車の運転手が被災者に気付かず送材車を動かしたところ、送材車が被災者の右手をひいたもの。

災害発生原因

立ち入り禁止区域で清掃等の作業を行う場合においては、分電盤の電源を切る等により運転を停止し、その旨を起動装置付近に表示する等の措置を行わなかったこと。  
立入禁止区域であるの走行レール付近に安易に立ち入ったこと。

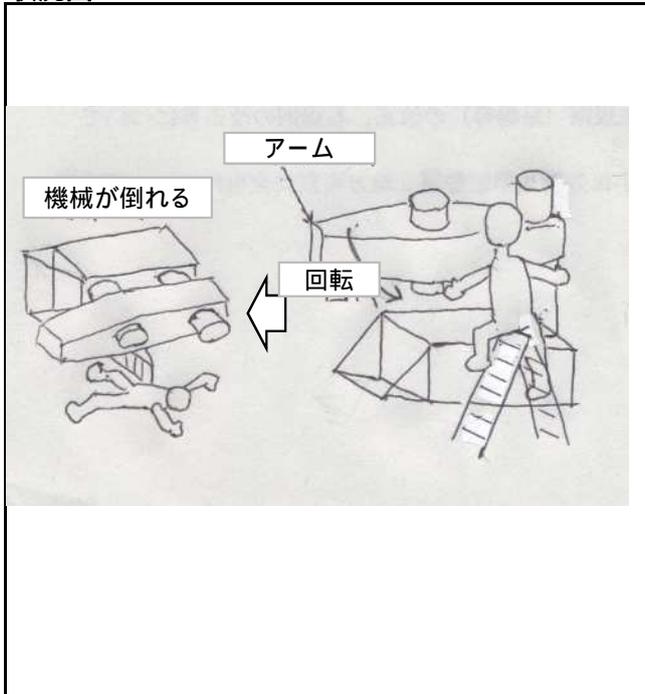
再発防止対策

清掃等の作業を行う場合は、確実に運転を停止し、その旨を起動装置付近に表示する等の措置を行うこと。  
立入禁止区域である旨を見やすい場所に表示すること。

災害事例 4 倒れてきた機械に激突される

業種	機械（精密機械を除く）器具製造業	年齢	40代	職種	設計、技術
災害の種類	激突され	傷病名	左肩関節脱臼骨折、右大腿骨骨折	休業	3ヶ月

状況図



労働災害発生状況

工場内において、機械の組立・調整作業のため機械の前に脚立に乗り作業していた。機械のアーム部分を少し回転させたところ、機械のバランスが崩れ、固定したものではなかったことから、機械が手前に倒れ、被災者は倒れてきた機械により脚立ごと倒れ被災したものの。

災害発生原因

アームが回転することにより重心が移動し、バランスが崩れ転倒する恐れがあったにもかかわらず、アームの転倒防止措置を講じていなかったこと。

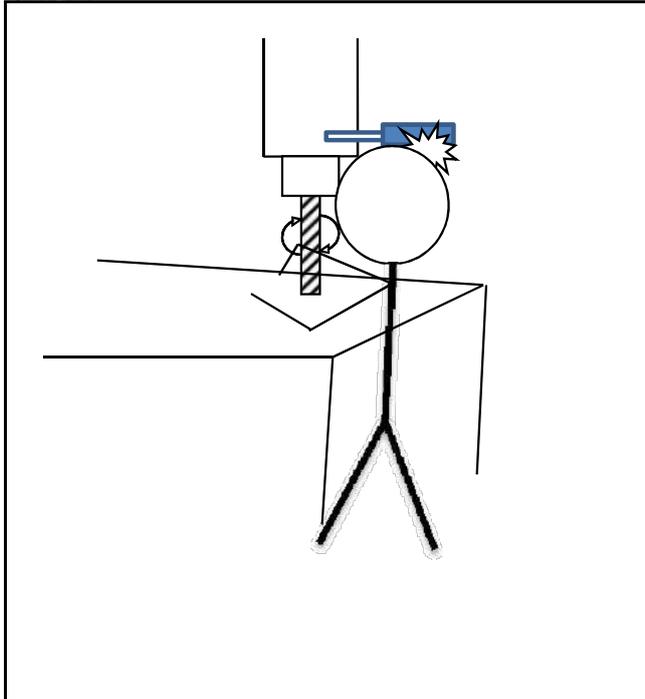
再発防止対策

可動部分の動きにより重心が変わり転倒しないか確認し、必要な転倒防止措置を講ずること。

災害事例 5 ラジアルボール盤への巻き込まれ

業種	機械器具製造業	年齢	50代	職種	機械加工員
災害の種類	はさまれ、巻き込まれ	傷病名	右上腕不全切断 急性心不全	休業	死亡

状況図



労働災害発生状況

ラジアルボール盤を使用して加工中、主軸回転クラッチレバーをニュートラルに入れた状態でドリルを交換しようとしたところ、体が主軸回転クラッチレバーにあたり、クラッチが入ったためドリルが回転し始め、右上腕を巻き込まれた。

災害発生原因

ボール盤のドリルを交換するにあたって運転を完全に停止してから交換を行わなかったこと。

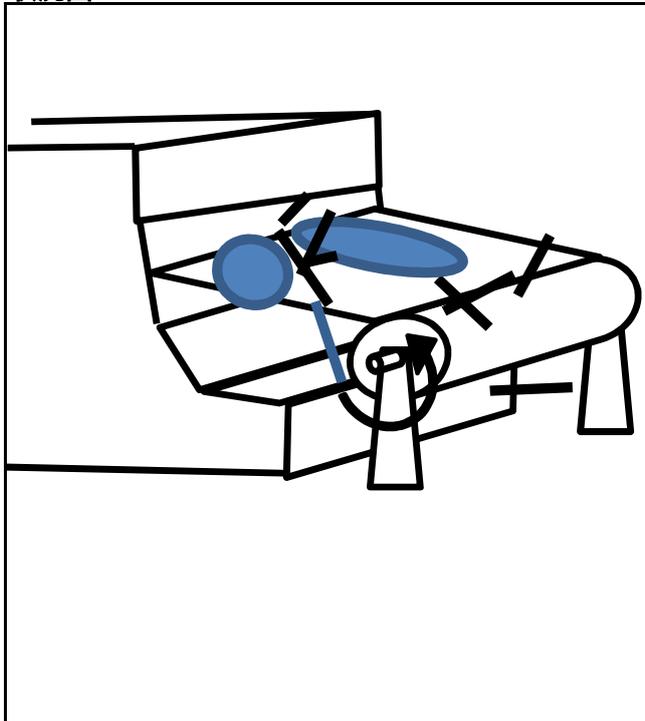
再発防止対策

ボール盤のドリルの交換作業を行う場合は、運転を完全に停止する。

災害事例 6 繊維ロール機の回転軸に作業服が巻き込まれ窒息死

業種	染色整理業	年齢	40代	職種	生産技術職
災害の種類	はさまれ、巻き込まれ	傷病名	低酸素脳症	休業	死亡

状況図



労働災害発生状況

繊維製品の撥水加工において撥水加工を行う繊維製品を供給するバッチカー（ロール状になった繊維製品を乗せておく台）の回転する爪部分に作業服の上に着ていた防寒着が巻き込まれ、絡まった防寒着に上半身が締め付けられ、窒息死したものの。

災害発生原因

バッチカーの爪に覆いを設ける等、労働者が巻き込まれることを防止する措置を講じていなかったこと。  
バッチカーの位置調整を行うにあたって、防寒着などの巻き込まれやすい衣類を着て作業を行っていたこと。

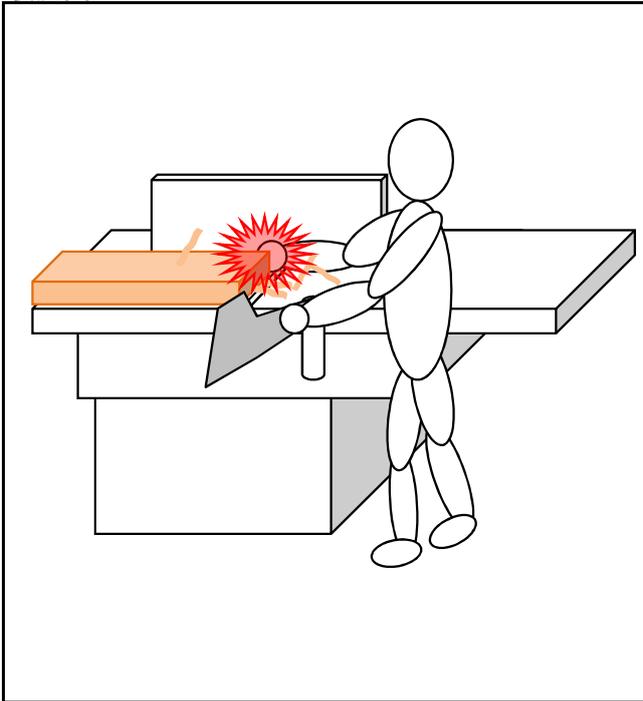
再発防止対策

バッチカーの爪に覆いを設ける等、労働者が巻き込まれることを防止する措置を講ずること。  
防寒着などの巻き込まれやすい衣類については、特に裾部分等を締めてひらひらさせないようにすること。

## 災害事例 7 切削屑を取り除こうとしたところ刃に接触する

業種	製材業	年齢	60代	職種	工員
災害の種類	切れ、こすれ	傷病名	手指骨折	休業	3ヶ月

### 状況図



### 労働災害発生状況

かんな盤を使用し、木材加工を行っていたところ、かんなくずを取り除こうとし、歯に触れ、指を負傷した。

### 災害発生原因

機械を停止させずに、かんなくずを取り除こうとしたこと。

### 再発防止対策

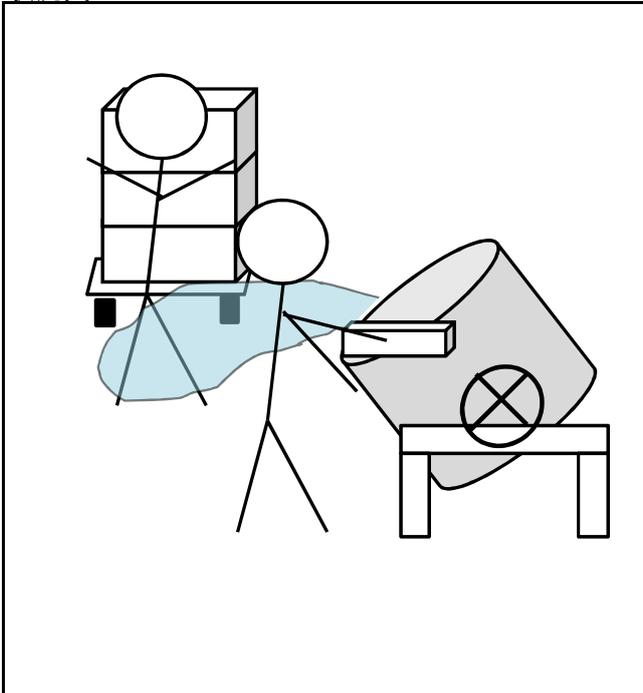
そうじ等を行う場合は確実に機械の運転を停止すること。

定期的な安全教育を行い、安全な作業方法の徹底を図ること。

## 災害事例 8 回転釜が傾きあふれた熱湯に接触

業種	その他の食料品製造業	年齢	60代	職種	作業員
災害の種類	高温・低温のものとの接触	傷病名	熱傷	休業	2ヶ月

### 状況図



### 労働災害発生状況

被災者が回転釜の横を通りかかった際、回転釜を担当している同僚が、食材の入ったザルを回転釜のふちに置いたところ、その重量で回転釜が傾き熱湯があふれだし、被災者の両足にかかったもの。

### 災害発生原因

回転釜が故障しており、ロック機構が作動しない状態であったが、回転釜のふちにザルを載せたこと。

作業スペースが狭く、回転釜の付近が通路となっていたこと。

### 再発防止対策

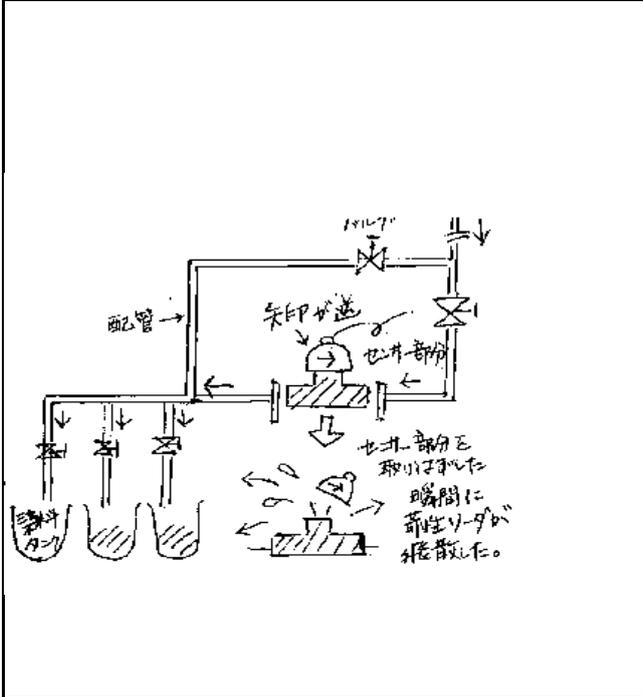
回転釜について、故障している場合は使用せず、上に安易に物を載せないこと。

機械の配置、作業内容等を考慮し、安全な通路を確保すること。

災害事例 9 苛性ソーダで化学熱傷

業種	繊維工業	年齢	40代	職種	専門技術職
災害の種類	有害物等との接触	傷病名	両眼の化学熱傷		休業 2週

状況図



労働災害発生状況

工場内の苛性ソーダ系統生産設備の修理工事が終了し、設備の確認作業を行ったところ、流量センサーが逆に取り付けられていた。正しい方向に直すため、センサーを引き抜いたとき、配管内の苛性ソーダが噴出し、両眼に化学熱傷を負った。

災害発生原因

配管の圧力を抜いて排液を行わなかった。  
内容物が噴出するおそれがあったにもかかわらず、防護眼鏡、防護服等を着用していなかった。

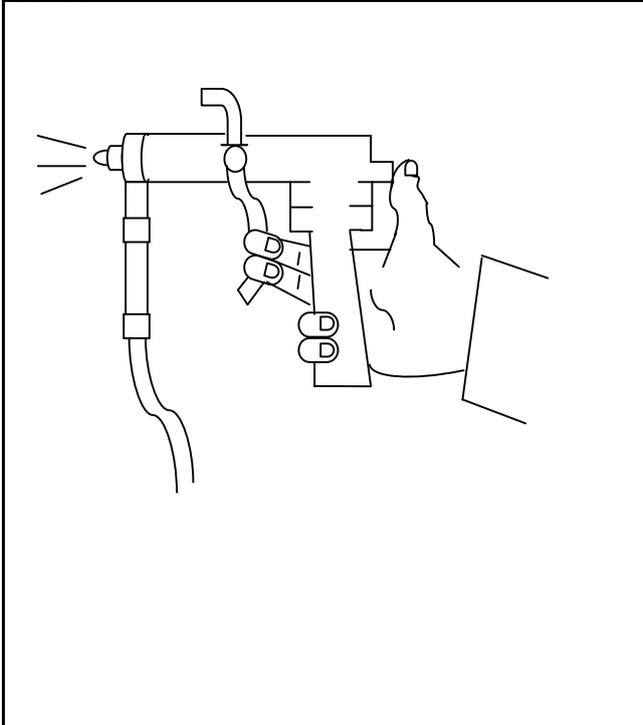
再発防止対策

配管の圧力を抜いて排液を行う。  
内容物が噴出するおそれのある場合には、防護眼鏡、防護服等を着用する。

災害事例 10 長期にわたる負荷作業で腱鞘炎

業種	その他の製造業	年齢	30代	職種	吹き付け工
災害の種類	動作の反動、無理な動作	傷病名	右手関節腱鞘炎		休業 3ヵ月

状況図



労働災害発生状況

スプレーガンによるFRP製品の吹き付け塗装作業に従事していた。作業中に右手に痺れを感じるようになり、2年程の間、痺れとその弱まりのくり返しであったところ、右手の指に力が入らなくなり、頸部、左手にも及ぶようになった。

災害発生原因

手指に負担の掛かる作業を長時間くりかえした。  
工具のとって部（にぎり部）の形状が適正でなかった。  
引き金工具の健康診断が未実施であった。

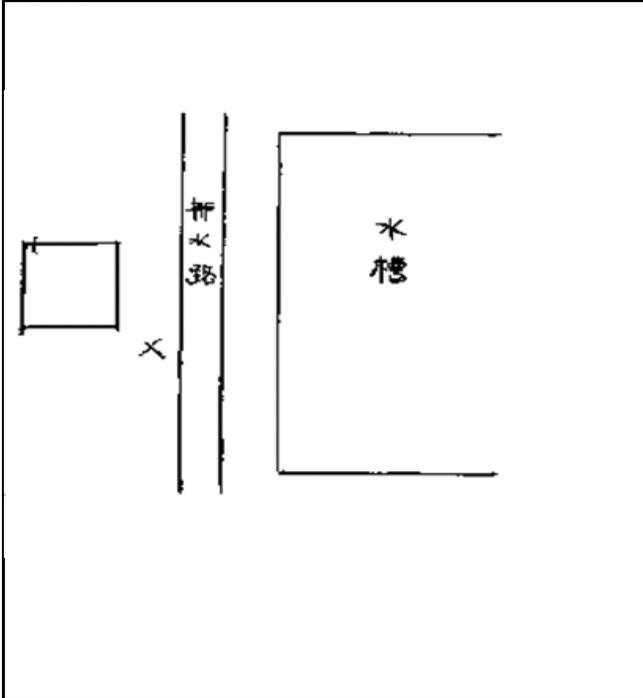
再発防止対策

ガイドライン「引き金工具による手指障害等の予防について」に基づいて次のような対策を実施する。  
作業の連続時間は、120分を超えない。  
有効に利用できる休憩設備を設ける。  
引き金工具にかかる健康診断をする。

災害事例 11 ゴミを持ち上げて腰痛

業種	食料品製造業	年齢	30代	職種	もやし製造職
災害の種類	動作の反動、無理な動作	傷病名	腰椎椎間板損傷		休業 2週

状況図



労働災害発生状況

水槽横の排水路（探さ約50センチ）からスコップを使用して清掃作業を行っていた。中腰になって排水路からゴミを持ち上げようと力を入れたところ、腰がいたくなった。安静にしていたが、痛みが引かないようになった。

災害発生原因

中腰等の不自然な姿勢で行っていた。  
姿勢を整えず、かつ、急激な動作を行った。

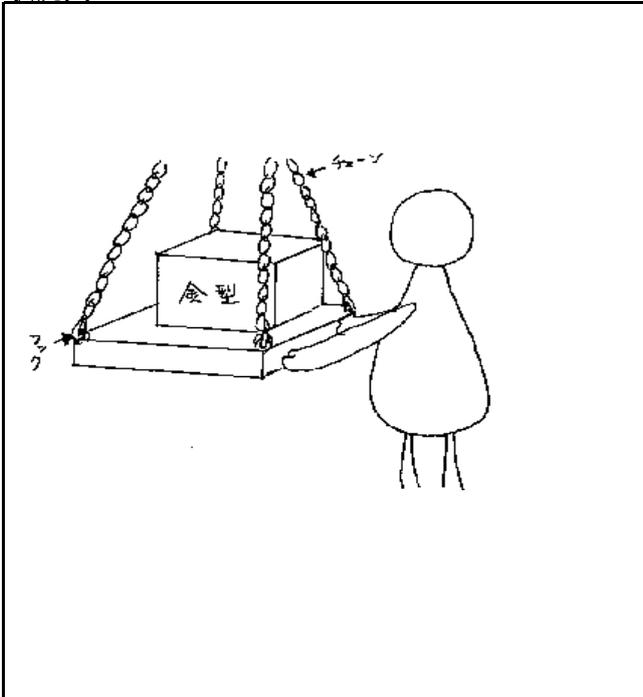
再発防止対策

腰部に負担のかかる中腰の不自然な姿勢をなるべく取らないようにする。  
持ち上げる動作は、膝を軽く曲げ、呼吸を整え、下腹部に力を入れながら行う。

災害事例 12 吊り上げた荷を降ろして腰をひねった

業種	金属製品製造業	年齢	50代	職種	金型工
災害の種類	動作の反動、無理な動作	傷病名	急性腰痛病		休業 5日

状況図



労働災害発生状況

工場内で天井クレーンが故障したため、吊り上げていた金型（約35kg）を手で持ち上げておろしたところ、金型が傾いてしまい、その弾みで腰をひねり、腰痛となった。

災害発生原因

金型をあわてて降ろしたため、荷が傾き急激な動作をとった。  
腰部に負担のかかる「ひねる姿勢」をとった。

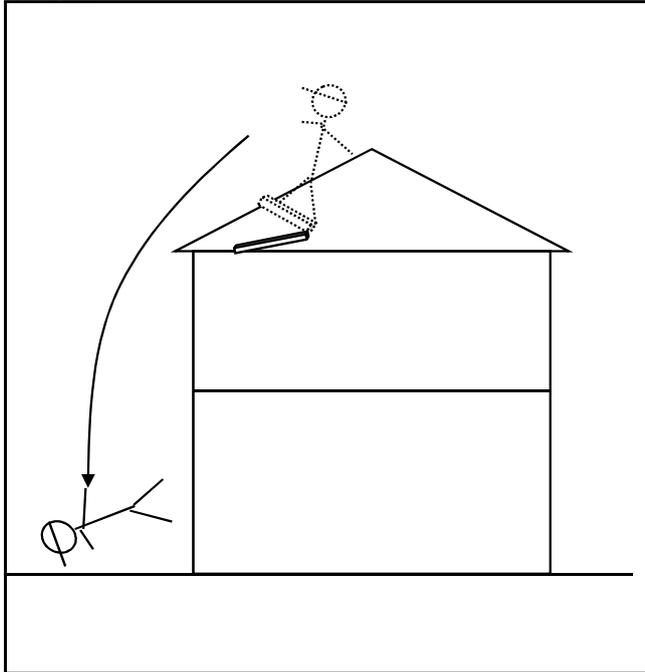
再発防止対策

腰部に負担のかかる「ひねる姿勢」をなるべく取らないようにする。  
緊急時は、特に視線も動作に合わせて慎重に移動させ、急激な動作を避ける。

### 災害事例 13 瓦葺替工事中に屋根から墜落

業種	木造家屋建築工事業	年齢	40代	職種	作業員
災害の種類	墜落、転落	傷病名	頭蓋底部骨折	休業	死亡

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

瓦葺替工事中、滑り止め用木製角材を野地板に固定していた金属製フックが作業員の重みに耐えきれず外れ、作業員が屋根から墜落した。

#### 災害発生原因

高さ2m以上の場所で作業を行わせるにもかかわらず、作業床の端に手すり等の墜落防止措置がなされていなかったこと。

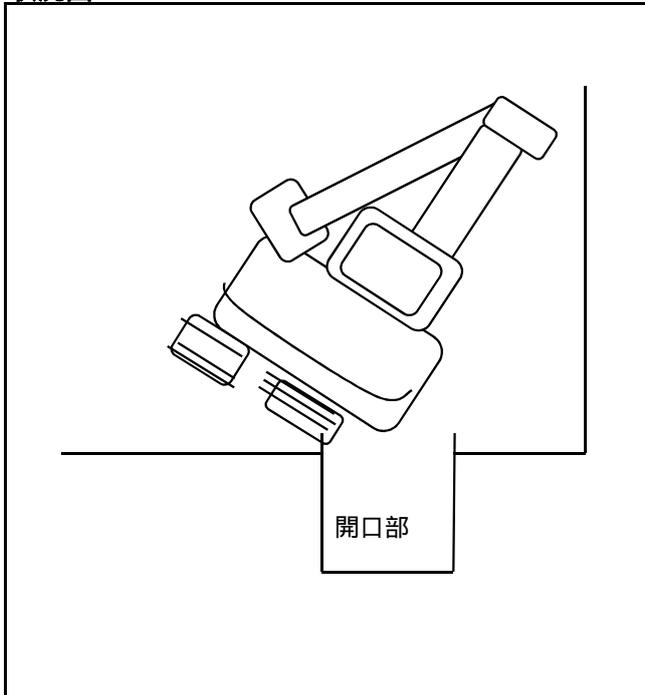
#### 再発防止対策

高さ2m以上の場所で作業を行う場合は、作業床の端に手すり等を設けること。  
手すり等の設置が困難な場合は安全帯を使用させること。

### 災害事例 14 ドラグショベルを移動中、共に転倒

業種	上下水道工事業	年齢	24歳	職種	土工作业員
災害の種類	転倒	傷病名	指切断	休業	4ヶ月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

工事現場でドラグショベルを移動させた際、開口部にクローラー部を落とし、ドラグショベルと共に転倒した。

#### 災害発生原因

周囲の状況を確認せず、ドラグショベルを移動させたこと。  
ドラグショベル運転経験が十分なかったこと。

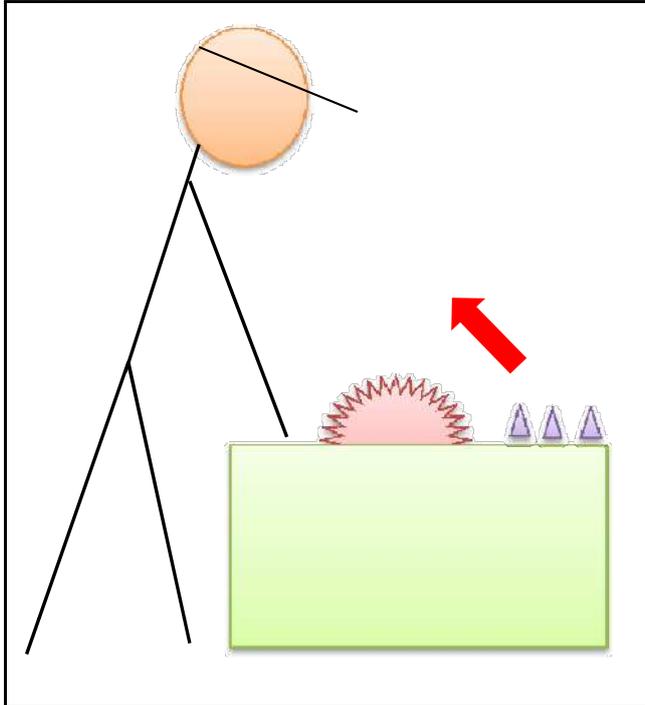
#### 再発防止対策

開口部には可能な範囲で「開口部」の表示を行うこと。  
運転経験が不十分な場合は、誘導員を配置し、誘導させること。

**災害事例 15 丸のこ盤でクサビが飛来**

業種	木造家屋建築工事業	年齢	50代	職種	大工
災害の種類	飛来、落下	傷病名	左前房出血	休業	2ヶ月

**状況図**



**労働災害発生状況**

作業場において、木造家屋新築工事に使用するクサビを丸のこ盤で制作していたところ、出来上がったクサビが回転している歯に触れて飛び跳ね、左眼球に当たり負傷した。

**災害発生原因**

加工済みの材料を丸のこ盤の上に放置した状態で作業を続けたこと。

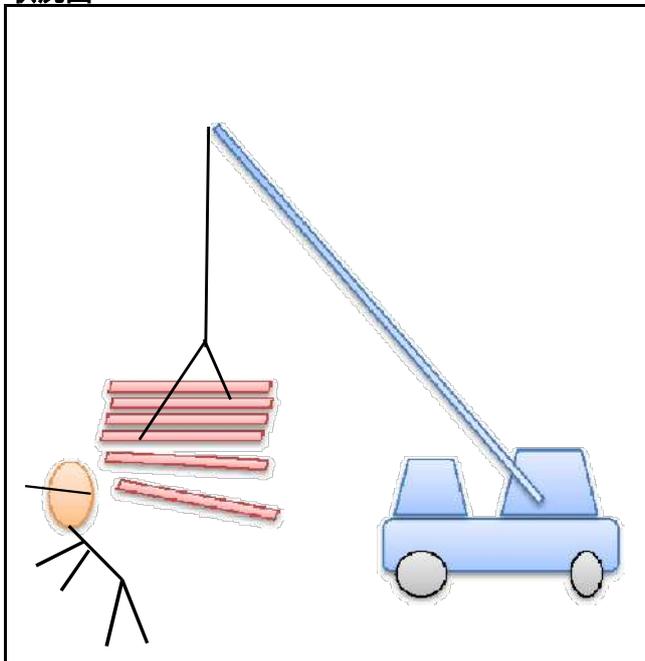
**再発防止対策**

加工済みの材料を丸のこ盤の上に放置した状態で作業しないこと。

**災害事例 16 繊維ロープが切れて資材が落下**

業種	木造家屋建築工事業	年齢	60代	職種	大工
災害の種類	飛来、落下	傷病名	肩甲骨、肋骨骨折	休業	2ヶ月

**状況図**



**労働災害発生状況**

木造家屋建築工事の建て方中に、資材を移動式クレーンで荷上げしていたところ、老朽化した繊維ロープが耐えきれず切断し、資材が落下した。付近で作業していた労働者に当たり被災したものの。

**災害発生原因**

移動式クレーンで使用する玉掛け用具に老朽化した繊維ロープを使用したこと。  
吊り荷の下で作業したこと。

**再発防止対策**

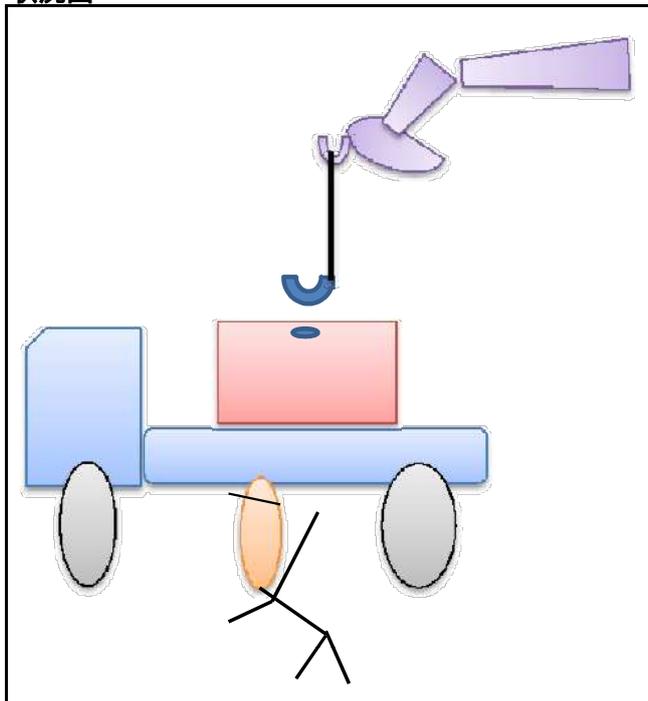
移動式クレーンで使用する玉掛け用具は安全係数を考慮した丈夫なものとし、玉掛け用具は作業開始前に点検すること。

原則として吊り荷の下には立ち入らないこと。

### 災害事例 17 フックが外れ敷鉄板が倒壊

業種	道路建設工事業	年齢	60代	職種	土木作業員
災害の種類	崩壊、倒壊	傷病名	外傷性ショック	休業	死亡

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

資材置き場においてドラグショベルで敷鉄板の積み込み作業をしていたところ、鉄板の穴からフックが外れ、手元作業をしていた被災者の上に倒れた。

#### 災害発生原因

車両系建設機械を荷のつり上げに用途外使用し、つり荷である敷鉄板が落下するおそれのある場所に労働者を立ち入らせたこと。  
玉掛け用フックの外れ止め装置が効かずに、フックが敷鉄板から外れたこと。

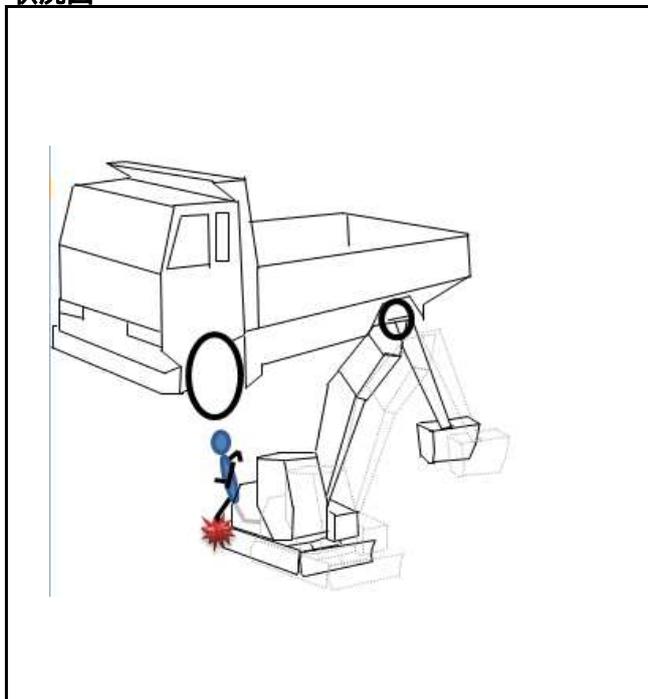
#### 再発防止対策

車両系建設機械を用途外使用し、つり上げた荷の落下等のおそれのある箇所に労働者を立ち入らせないこと。  
敷鉄板の穴にシャクルを取り付けて、シャクルにフックを掛けてつり上げること。

### 災害事例 18 ミニバックホーのクローラーにはさまれ

業種	道路建設工事業	年齢	30代	職種	土工
災害の種類	はさまれ、巻き込まれ	傷病名	右足骨折	休業	2か月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

町道の下水道復旧工事において、トラックに碎石を積んでいたミニバックホーの後方を通ってトラックに乗り込もうとしたところ、ミニバックホーが後進したため、ミニバックホーのクローラーに右足をはさまれた。

#### 災害発生原因

ミニバックホーと接触するおそれがある箇所に、労働者を立ち入らせたこと。  
ミニバックホーを後進させるにあたり、労働者等が立入っていないか十分な確認を行わなかったこと。

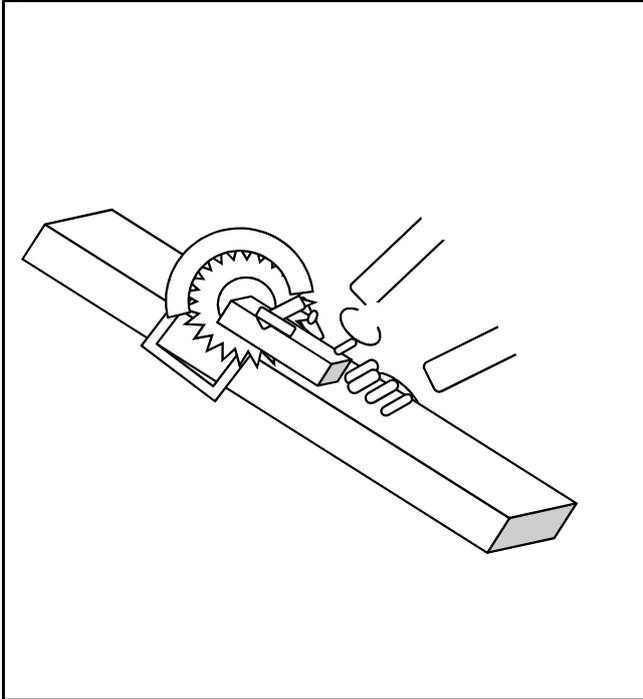
#### 再発防止対策

車両系建設機械の運行経路に労働者を立ち入らせない。  
機械の死角に十分注意し、後進させる時は状況に応じて誘導者を配置し合図を行わせること。

## 災害事例 19 携帯用丸のこ盤がはね、指を負傷する

業種	建設業	年齢	20代	職種	大工
災害の種類	切れ、こすれ	傷病名	手指挫滅損傷	休業	3ヶ月

### 状況図



### 労働災害発生状況

携帯用丸のこ盤を使用し、角材を切断していたところ、携帯用丸のこ盤がはね、角材を支えていた左手にのこ歯が当たり、手指を切った。

### 災害発生原因

加工物の固定が不十分であったこと（片手で保持するのみ）。  
携帯用丸のこ盤の使用方法が適切でなかったこと。

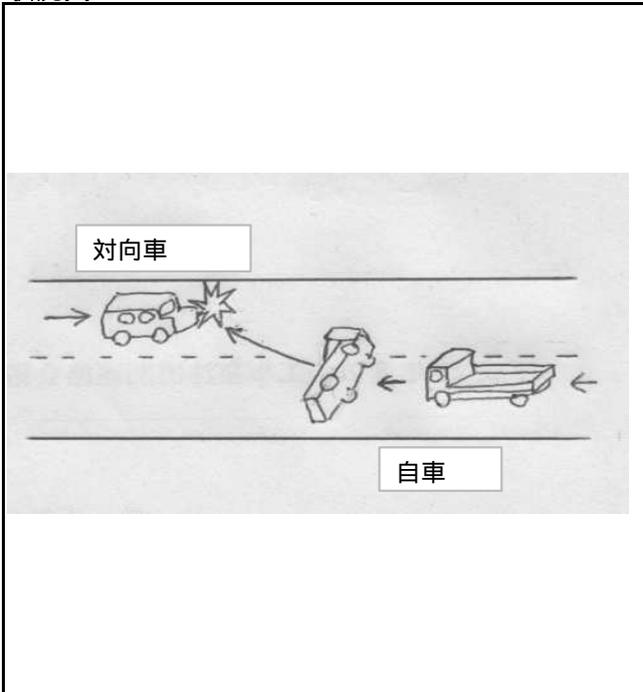
### 再発防止対策

加工物を加工台に万力やバンド等を使用し、固定すること。  
作業者に「携帯用丸のこ盤等取扱い作業従事者教育」を実施し、正しい知識や使用方法を習得させること。

## 災害事例 20 トラック運転中に横転

業種	その他の建設業	年齢	20代	職種	土木工
災害の種類	交通事故（道路）	傷病名	脳挫傷 他	休業	6ヶ月

### 状況図



### 労働災害発生状況

朝、工事現場へトラックに乗って移動中、片側一車線の道路上で運転を誤りトラックが横転した。トラックはそのままセンターラインを越え、対向車線走行中の対向車に接触し被災した。

### 災害発生原因

運転中、道路の状況をよく確認しておらず、ハンドル操作を誤り、横転したこと。

### 再発防止対策

前方不注意となる行動をさせず、道路状況確認を怠らないようにすること。  
時間に余裕を持った運行を行う。

災害事例 21

機械音が共鳴する場所で作業し難聴

業種	土木工事業	年齢	70代	職種	土木作業員
災害の種類	その他	傷病名	突発性難聴		休業 13日

状況図



労働災害発生状況

排水路の橋の下で削岩機を使って作業していたところ、急に耳がゴォーと音がしたが、そのまま作業を続けたところ、突発性難聴になった。

災害発生原因

騒音が発生する作業であるのに作業員に耳栓等の防具を使用させなかった。  
騒音作業の安全衛生教育を行っていなかった。

再発防止対策

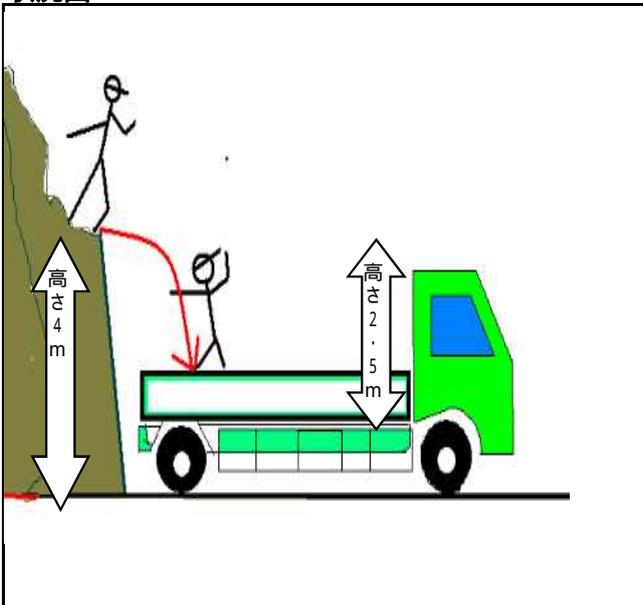
騒音が発生する作業では、耳栓等の防具を使用させる。  
騒音作業の安全衛生教育を行う。

災害事例 22

崖の上からバランスを崩し飛び降り

業種	建設工事業	年齢	44歳	職種	土木作業員
災害の種類	激突	傷病名	右踵骨骨折		休業 3ヶ月

状況図



労働災害発生状況

崖の上から廃材、鉄くずを崖下に停めてあるトラックに投げ込んでいたところ、転落しそうになり、咄嗟に約2・5 m下のトラックに飛び降りて負傷したものの。

災害発生原因

転落のおそれがある崖の上に廃材、鉄くずを置き、作業を行っていたこと。

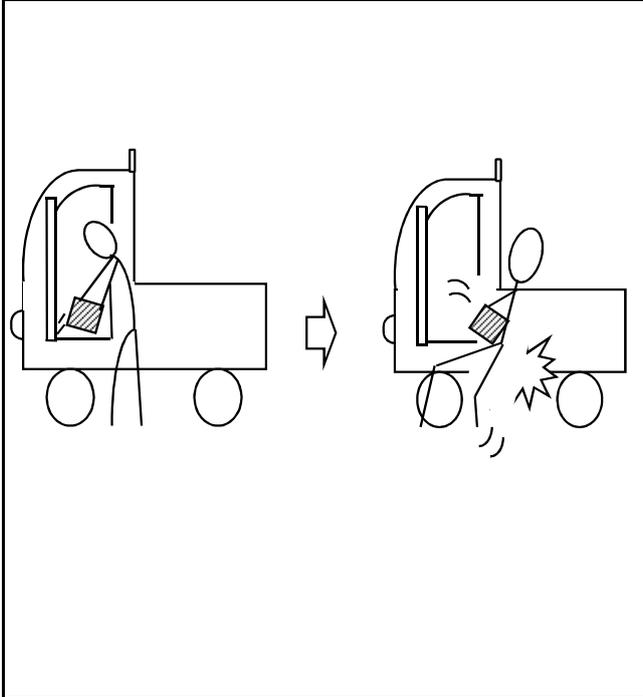
再発防止対策

転落のおそれがある作業場所の端に手すりを設ける。又は、作業者に安全帯を使用させること。

## 災害事例 23 重量物を取扱中に足をひねって骨折

業種	建設業	年齢	60代	職種	作業員
災害の種類	動作の反動	傷病名	足首骨折	休業	60日

### 状況図



### 労働災害発生状況

資材置き場で、トラックからセメント袋を卸そうとして、セメント袋を持って横を向いた瞬間、足をひねり骨折した。

### 災害発生原因

重量物の取扱い中に無理な動作を行ったこと。

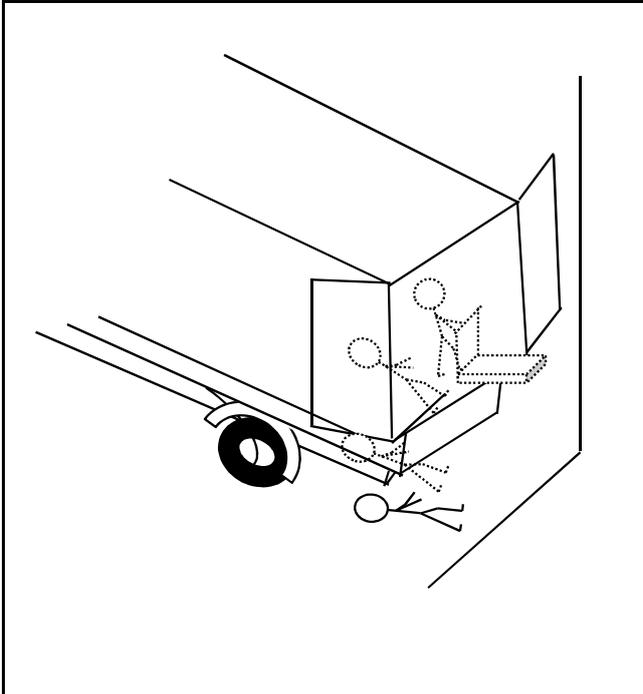
### 再発防止対策

重量物の取扱いは、必要に応じ台車を使用する。又は複数名で作業すること。

## 災害事例 24 トラック荷台とホームの間から墜落

業種	一般貨物自動車運送業	年齢	50代	職種	運転手
災害の種類	墜落、転落	傷病名	慢性硬膜下血	休業	4ヶ月

### 状況図



### 労働災害発生状況

トラックの荷台から荷物を卸るし、続いてパレットを外に出そうとしたところ、トラック後部とホームの隙間（幅40cm、高さ120cm）に墜落した。

### 災害発生原因

トラックとホームに労働者が墜落するだけの隙間が開いていたこと。  
労働者が荷台の端に近づきすぎたこと。

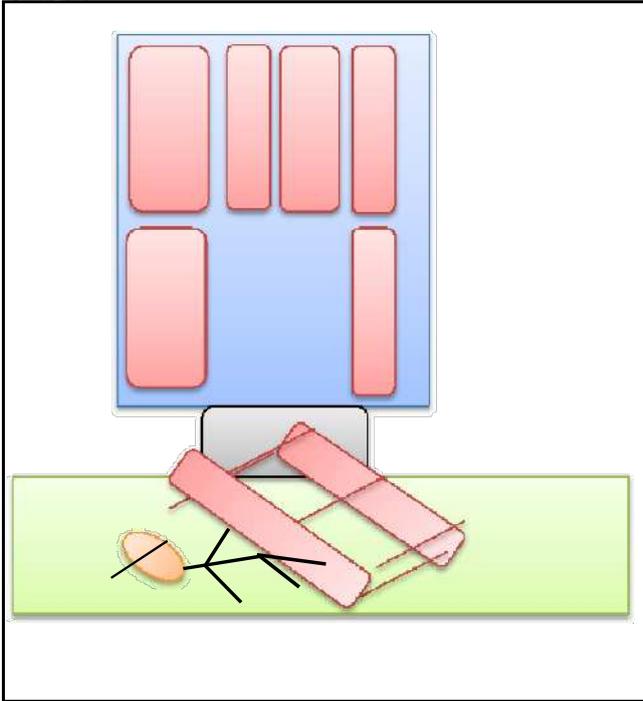
### 再発防止対策

荷卸るし作業を行う際は、労働者の墜落を防止するため、トラックとホームの隙間をできる限り小さくすること。  
労働者に荷台の端に近づき過ぎない位置で作業させること。

災害事例 25 バランスを崩しカゴ車が倒壊

業種	一般貨物自動車運送業	年齢	30代	職種	運転手
災害の種類	崩壊、倒壊	傷病名	左足脛部骨折		休業 2ヶ月

状況図



労働災害発生状況

トラックから商品の荷卸し作業中、カゴ車をパワーステアリング上から荷卸し場に移動させた際、カゴ車がバランスを崩し倒れだし、慌てて支えようとしたが支えきれず、その下敷きとなり負傷した。

災害発生原因

カゴが倒れやすい状態であったこと。  
支えられるはずのないカゴ車を支えようとしたこと。

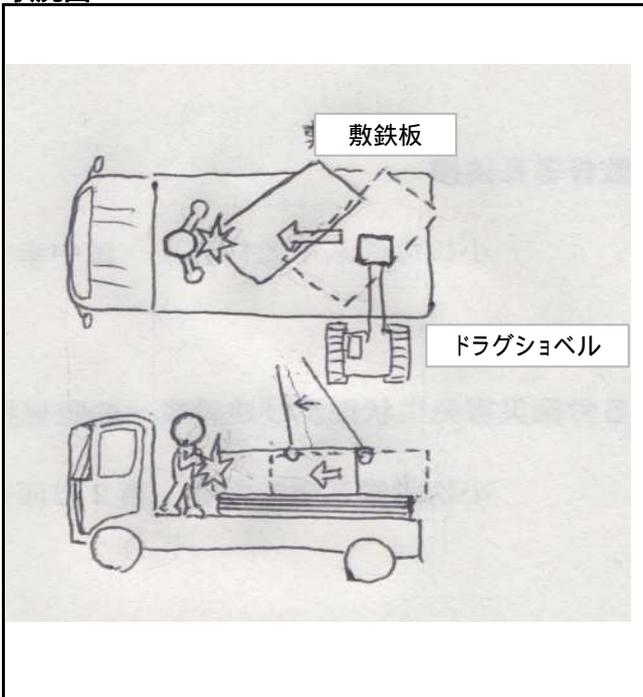
再発防止対策

かご車をできるだけ倒れにくい低重心の状態とすること。  
カゴ車の重量や商品の重量を把握して作業を行うこと。

災害事例 26 ドラグショベルでつり上げた荷に激突される

業種	一般貨物自動車運送業	年齢	40代	職種	貨物運送業
災害の種類	激突され	傷病名	右大腿骨骨折、出血性ショック死		死亡

状況図



労働災害発生状況

敷鉄板をドラグショベルを用いてトラックに積み込む作業を行っていた。  
被災者はトラックの荷台上で、敷鉄板からワイヤーロープを外す作業を行っていたところ、敷鉄板（約1.6t）を、トラック後方にずれていたため、前方に移動させようと再度つり上げた際、敷鉄板が被災者のひざ上に激突したものの。

災害発生原因

敷鉄板のつり上げ作業にクレーンを使用せず、ドラグショベルを用途外使用し、用途外使用において1tを超えた荷をつり上げたこと。  
荷のつり上げの際に、地切り（荷が地面を離れること）が十分でないまま、敷鉄板を移動させたこと。

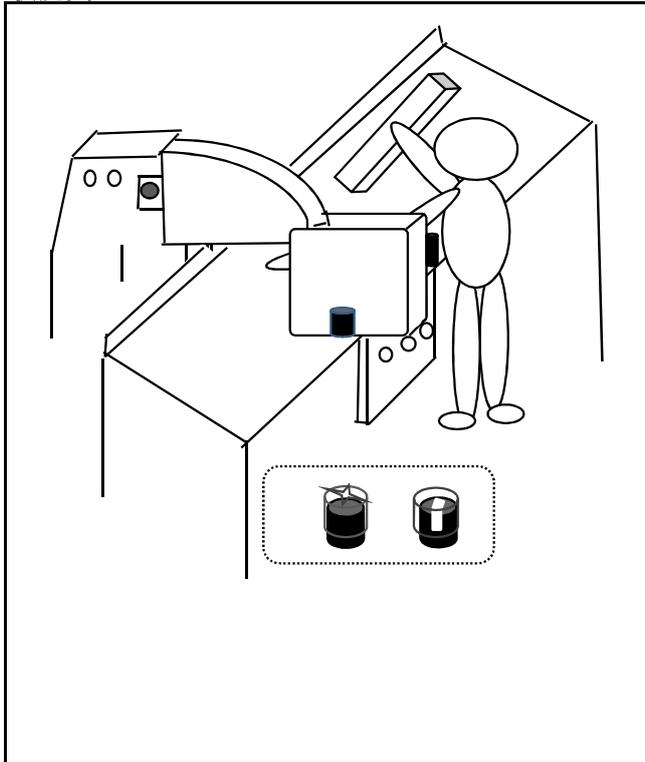
再発防止対策

ドラグショベルの用途外使用せずクレーンまたはクレーン仕様ドラグショベルを使用すること。  
つり上げの際、十分地切りを行った上で水平移動すること。

## 災害事例 27 操作ボタンの改造により指を切断

業種	陸上貨物取扱業	年齢	60代	職種	梱包工
災害の種類	切れ、こすれ	傷病名	手指切断	休業	2ヶ月

### 状況図



### 労働災害発生状況

丸のこ盤で木材の切断作業中、切断した木材を引き出すため、左手を昇降カバーの下にもっていったとき、丸のこ盤が動き出し、指を切断した。

### 災害発生原因

操作ボタンのカバーを取り外したため、ボタンの隙間に木くず等が入り、操作ボタンが元の状態に戻っていなかったこと。  
両手起動の操作ボタンであったが、片方のボタンをテープで固定し、一つの操作ボタンで動作可能な状態としていたこと。

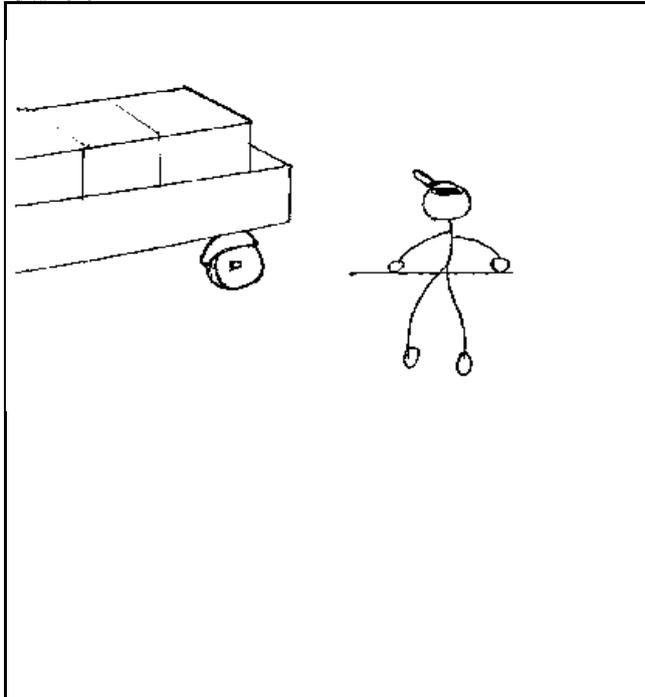
### 再発防止対策

木材加工用機械作業主任者等により、安全装置を常時有効な状態を保持されているか確認すること。  
両手起動の操作ボタンを使用し、丸のこ歯の上に手をもっていかないで作業を行うこと。

## 災害事例 28 荷降ろし作業中に熱中症

業種	一般貨物自動車運送業	年齢	40代	職種	トラック運転手
災害の種類	高温・低温の物との接触	傷病名	熱中症	休業	1週

### 状況図



### 労働災害発生状況

社内敷地内で荷卸作業をしていた被災者が、体調の異変を感じたので、水分補給をし体を冷やしてトラックで出発したところ、足に痙攣を発症し、そのまま入院した。

### 災害発生原因

気温が高く、熱中症が発生しやすい状況であったが、事業場として、熱中症予防対策が不十分であった。  
被災者に睡眠不足による体調不良があった。

### 再発防止対策

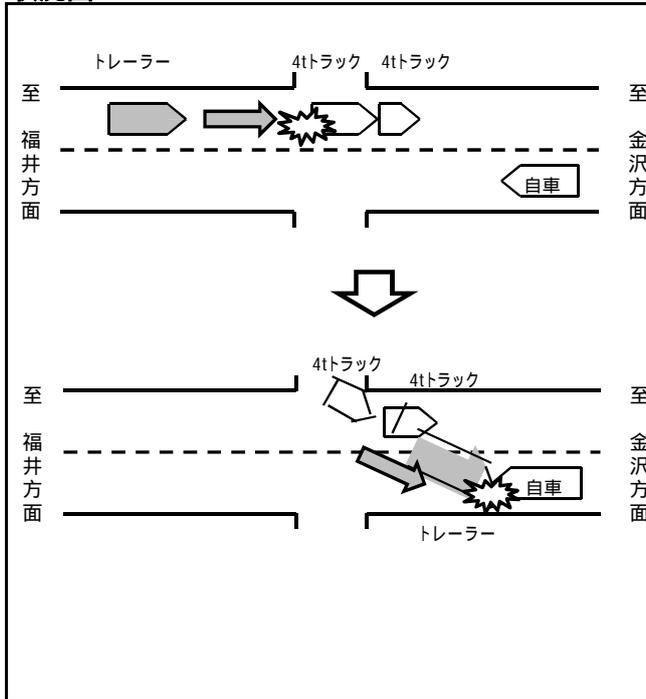
気温を気象予報などから予想し、熱への順化、作業時間の短縮、交代要員の手配、身体状況の確認のための体温計の配布等の熱中症対策をする。  
労働者に予め、熱中症対策に関する労働衛生教育を実施し、睡眠不足による体調不良でない等日常の健康管理をする。

災害事例 29

凍結した路面でスリップし衝突

業種	一般貨物自動車運送業	年齢	50代	職種	運転手
災害の種類	交通事故（道路）	傷病名	脳挫傷		死亡

状況図



労働災害発生状況

5tトラックを使用して鋼材（10t）を運搬中、路面が凍結しており対向車線で4t車2台が接触事故を起こしていたため、通過困難と判断して停車していたところ、対向車線から走行してきたトレーラーがスリップし、奥側の4tトラックに衝突した後、はずみで対向車線からはみ出し自転車に衝突した。

災害発生原因

路面が凍結しており、スリップ事故を起こしやすい状況であったこと。  
対向車のトレーラーがスリップして、対向車線からはみ出したこと。

再発防止対策

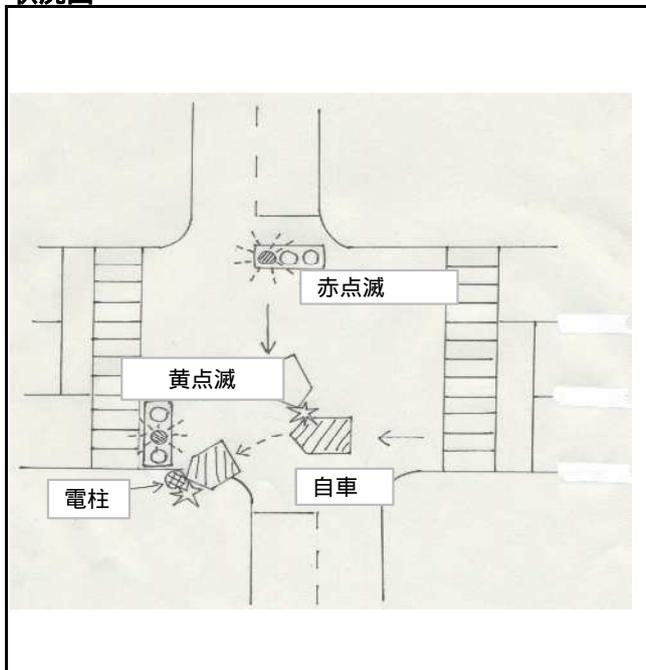
冬期における事故の防止に留意し、走行計画を作成すること。

災害事例 30

点滅信号の交差点で衝突

業種	一般貨物自動車運送業	年齢	40代	職種	運転手
災害の種類	交通事故（道路）	傷病名	脳挫傷	休業	2ヶ月

状況図



労働災害発生状況

優先道路をトラックで走行中、交差点の信号が黄色の点滅であったのでそのまま通過したところ、交差点右方向から、信号が赤の点滅であったのに直進してきた相手車両に衝突されたもの。

災害発生原因

トラック側は黄色の点滅信号であったが、右方向から来た車を十分確認しなかった。  
赤の点滅信号なのに相手車両が安全確認せず、交差点を横断しようとしたこと。

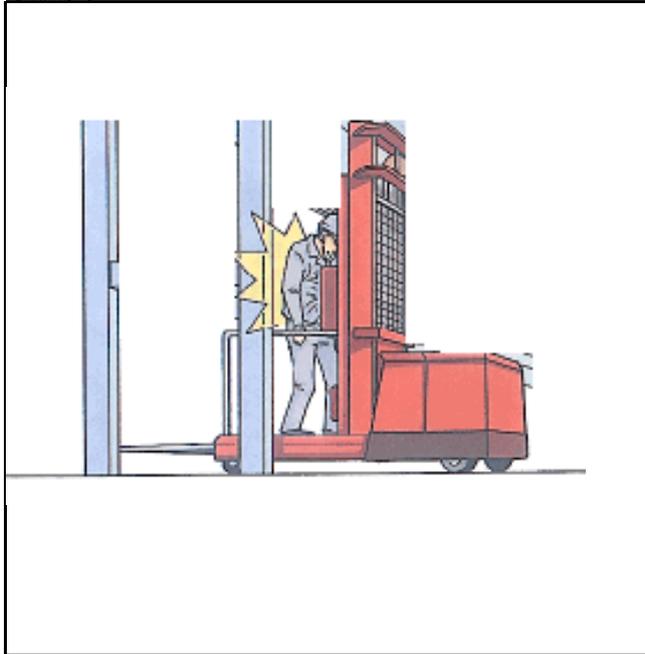
再発防止対策

黄色の点滅信号であっても、交差する道路の車両の状況に注意すること。  
赤の点滅信号等を守らず交差点に入る相手車両もあることを想定し、必要な場合は徐行、警笛など、危険回避措置が十分に可能となるよう教育を行うこと。

**災害事例 31 フォークリフト後進中に運転者の手が鉄柱に激突**

業種	一般貨物運送業	年齢	46歳	職種	トラック運転手
災害の種類	激突(衝突事故)	傷病名	右前腕筋損傷	休業	2ヶ月

**状況図**



**労働災害発生状況**

トラック運転手が配送先工場内通路で荷卸作業に使用するリーチ式フォークリフトを移動していた。  
移動中の通路で作業中の人を避けるため、通路右端によってフォークリフトを後進させていたところ、通路右端にあった鉄柱に右腕を強打した。

**災害発生原因**

運転者が左方の作業者に気を取られ、右側の鉄柱に気づかなかったこと。  
左方の作業者に声を掛けずに避けようとし、右により過ぎて運転したたこと。

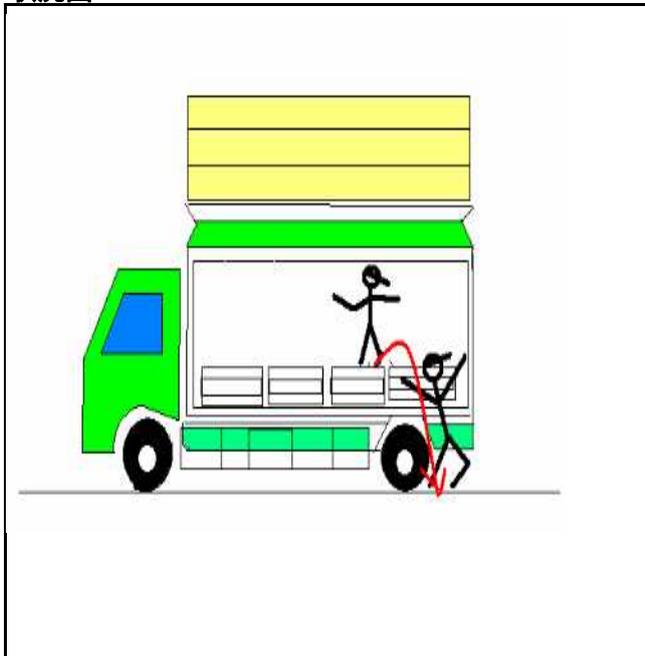
**再発防止対策**

運転者は左方の作業者に気付いたときは、周囲を確認して右側の鉄柱を避けて運転すること。  
左方の作業者に声を掛けて避けてもらうこと。

**災害事例 32 トラック荷台に積んだコンテナから飛び降りて道路に足を強打**

業種	一般貨物運送業	年齢	44歳	職種	トラック運転手
災害の種類	激突	傷病名	右踵骨骨折 右足捻挫	休業	3ヶ月

**状況図**



**労働災害発生状況**

貨物配送先で荷物の積み卸し終了後、トラック(10t車)の荷台に積まれたコンテナの上から地面に飛び降りて、右足首を骨折した。コンテナの上から地面までの高さは約2mであった。

**災害発生原因**

トラックの荷台に積まれたコンテナの上から地面に飛び降りたこと  
トラックの荷台の端とコンテナの間に足の踏む幅がなく、トラックの荷台から安全に昇降できる設備がなかったこと

**再発防止対策**

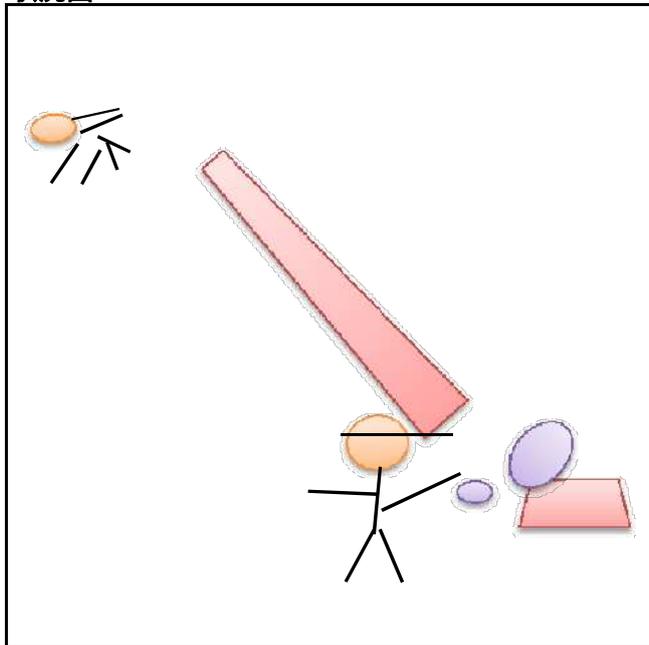
トラックの架装の端に握り棒を設け、昇降時に使用するなど昇降設備を設けること  
トラックの荷台の端とコンテナの間に足の踏み場を設けられるようにコンテナを積むこと

### 災害事例 33

### 伐採木が他の作業者に倒壊

業種	林業	年齢	20代	職種	伐採工
災害の種類	崩壊、倒壊	傷病名	腰椎骨折	休業	3ヶ月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

山林での間伐作業において、給油の油をとりにかかと移動したところ、他の作業員が伐採した木に当たった。

#### 災害発生原因

伐採の合図を行わず、しかも伐採範囲内に労働者がいないことを確認せず伐採したこと。  
被災者が伐採作業を行っている危険な箇所を移動したこと。

#### 再発防止対策

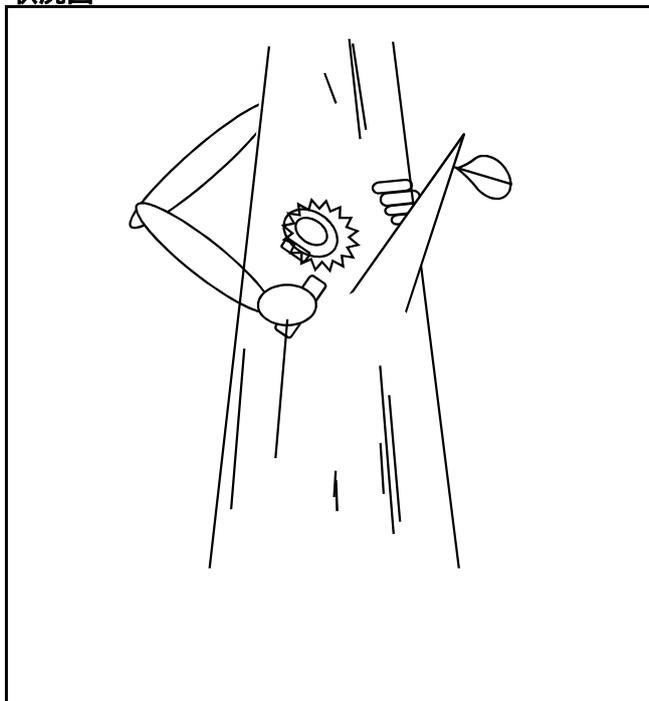
伐採の合図を定め、合図の応答を確認してから伐採すること。  
伐採作業の危険範囲に立ち入らせないこと。

### 災害事例 34

### 枝打ち機による指骨折

業種	その他の林業	年齢	50代	職種	作業員
災害の種類	切れ、こすれ	傷病名	指骨折	休業	2ヶ月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

枝打ち機を使用し、木の裏側の枝を落としたところ、木を支えていた左手指に枝打ち機の歯が接触した。

#### 災害発生原因

枝打ち機を使用する際、幹をつかむ手が枝打ち機の歯の進行方向に置かれていたこと。

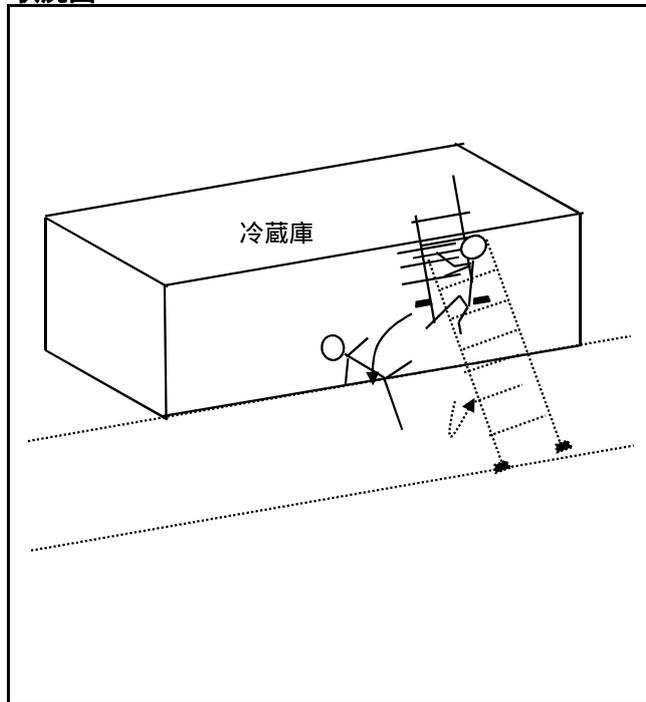
#### 再発防止対策

枝打ち作業の作業標準等を作成し、作業者に安全教育を行い、正しい作業方法を徹底させること。

### 災害事例 35 はしごが滑り、店員が墜落

業種	各種商品小売業	年齢	60代	職種	店内作業員
災害の種類	墜落、転落	傷病名	腰部圧迫骨折		休業 4ヶ月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

冷蔵庫の上（地上より2.5m）に什器を片付けようと脚立を伸ばし上に上ろうとしたところ、下の面が滑り、脚立途中より墜落した。

#### 災害発生原因

脚立を移動はしごとして使用し、転位防止措置がなかったこと。

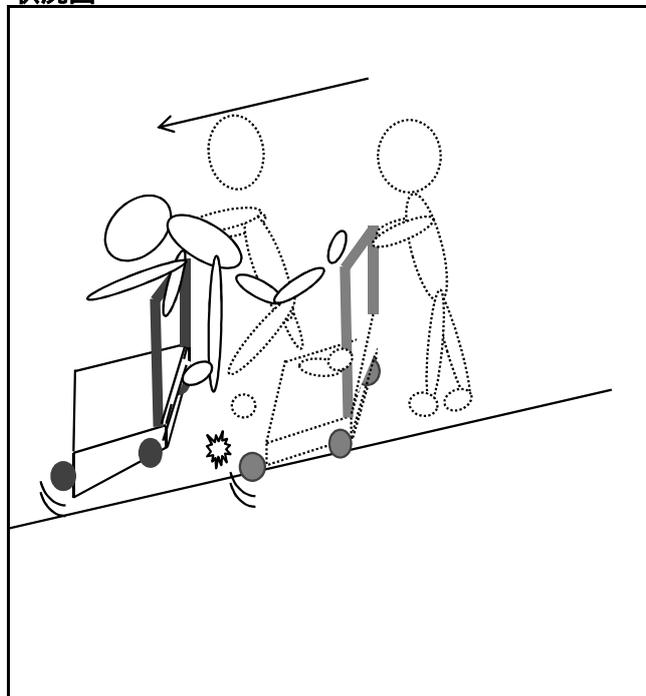
#### 再発防止対策

脚立を移動はしごとして使用しないこと。はしごは上方を固定。他の労働者が下方を支える等の転位を防止すること。

### 災害事例 36 止まっていた運搬車が動き出し、止めようとして転倒

業種	卸売業	年齢	55歳	職種	調理員
災害の種類	転倒	傷病名	大腿部骨折		休業 3ヶ月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

廊下を運搬車（人力）を押して移動中、車輪がスムーズに動かなくなったため運搬車の向きを調整したところ、急に運搬車が動き出し、それを止めようとして慌てて踏み出した時、足がもつれて転倒した。その位置は僅かに傾斜があった。

#### 災害発生原因

廊下が傾斜している箇所で、運搬車が自然に移動することを考慮していなかったこと。

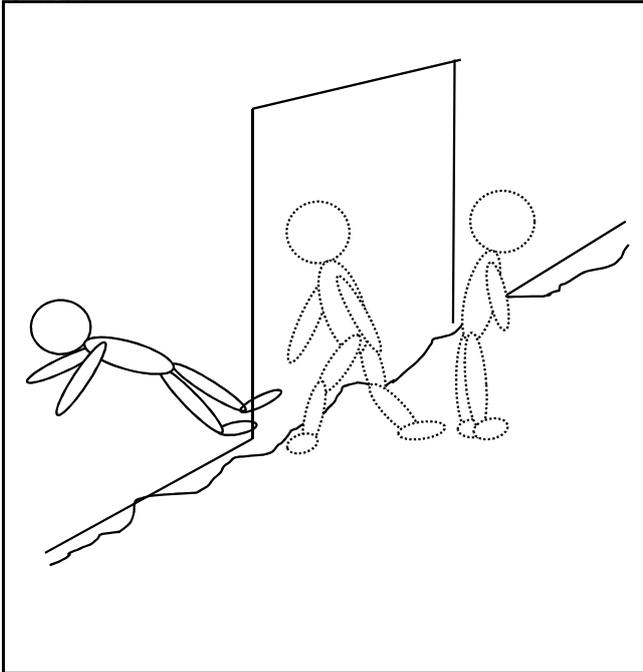
#### 再発防止対策

傾斜があり、自然に移動する可能性がある場所では、それを考慮して作業を行うこと。施設内で同様の危険性がある箇所について、危険表示や危険マップ等により労働者に周知すること。

### 災害事例 37 敷かれていたカバーにつまずき転倒

業種	小売業	年齢	61歳	職種	水産加工員
災害の種類	転倒	傷病名	膝骨折	休業	2ヶ月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

部屋から後ろ向きに出たところ、床上の敷いていたカバーがめくれており、そこに躓き転倒した。

#### 災害発生原因

敷いていたカバーがめくれていたこと。  
後ろ向きで歩いたため、めくれていた状態に気付かなかったこと。

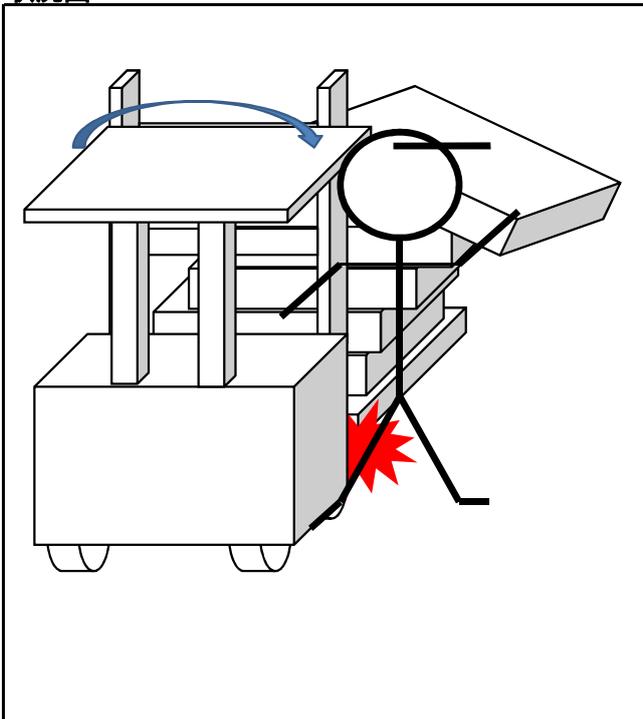
#### 再発防止対策

敷くカバーのめくれた状態は放置せず、確認した場合はすぐに直すこと。  
後ろ向きに歩行させないこと。

### 災害事例 38 フォークリフトにはさまれ

業種	その他の卸売業	年齢	40代	職種	フォークリフト運転手
災害の種類	はさまれ、巻き込まれ	傷病名	左膝圧迫骨折	休業	2か月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

鮮魚の荷降ろし場にてフォークリフトに荷を積み込んで運転中、荷崩れしそうになったため運転手がフォークリフトから飛び出して荷を抑えようとしたところ、ギアが入っていたため動きだし、運転手がフォークリフトに轢かれたもの。

#### 災害発生原因

フォークリフトのエンジンを停止せずに運転席から離れたこと。  
フォークリフトに荷を積み込む際は、荷崩れを起こさないような運搬用のパレットを使用していなかったこと。もしくは、荷崩れを起こすような手荒な運転を行ったこと。

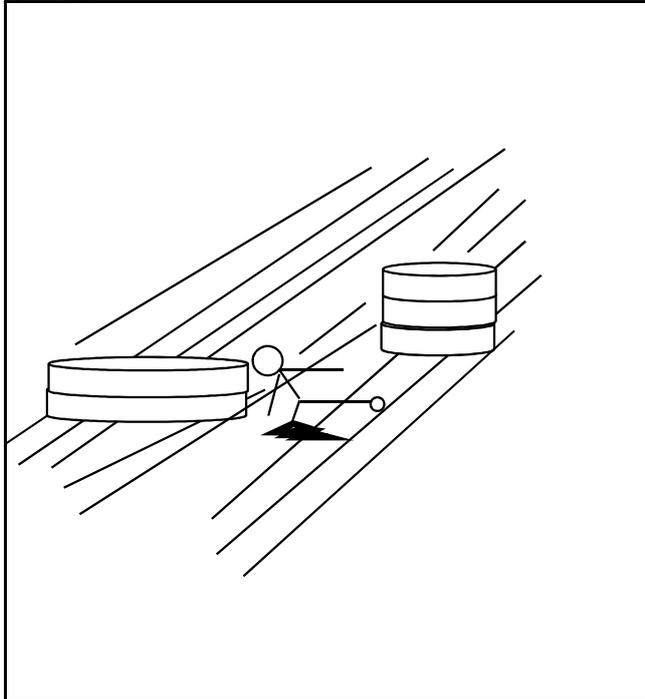
#### 再発防止対策

フォークリフトの運転席から離れるときはエンジンを切って完全にフォークリフトが停止したことを確認してから離れること。  
フォークリフトにて荷を運搬するときは荷崩れを起こさないような運搬用のパレット等を使用する。また、荷崩れを起こさないような慎重な運転を行うよう運転手に徹底させる。

**災害事例 39 床に穴があいたまま放置していたため踏み抜いた**

業種	商業	年齢	30代	職種	サービス
災害の種類	踏み抜き	傷病名	骨折	休業	60日

**状況図**



**労働災害発生状況**

タイヤ保管庫の床が抜けていたため、スタッドレスタイヤを整理中に、床に足が挟まり被災した。

**災害発生原因**

床に穴があいていたこと。

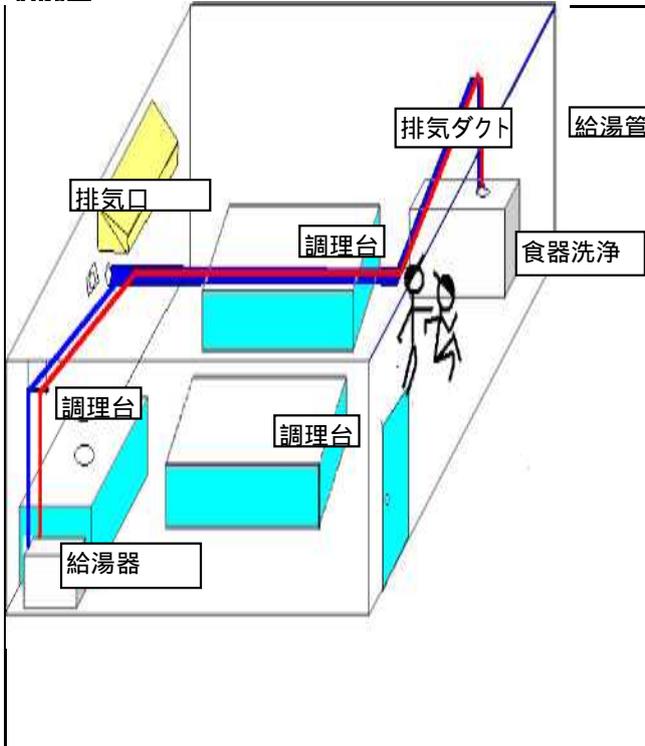
**再発防止対策**

床に空いた穴は放置せず、すぐに補修すること。  
建物の状態を定期的を確認し、必要な場合は修繕すること。

**災害事例 40 給食調理場にて一酸化炭素中毒**

業種	販売業	年齢	40代	職種	技術者
災害の種類	有害物等との接触	傷病名	一酸化炭素中毒	休業	死亡

**状況図**



**労働災害発生状況**

学校給食調理場の食器洗浄機に自動洗剤供給器を取り付け、試運転作業を行っていた作業員2名が食器洗浄機運転に必要な給湯器が不完全燃焼したため、一酸化炭素中毒により死亡したもの

**災害発生原因**

給湯器の排気ダクトが排気口に繋がっていないこと  
冷房のため調理場を閉め切り給湯器を長時間運転したのに換気扇を稼働しなかったこと

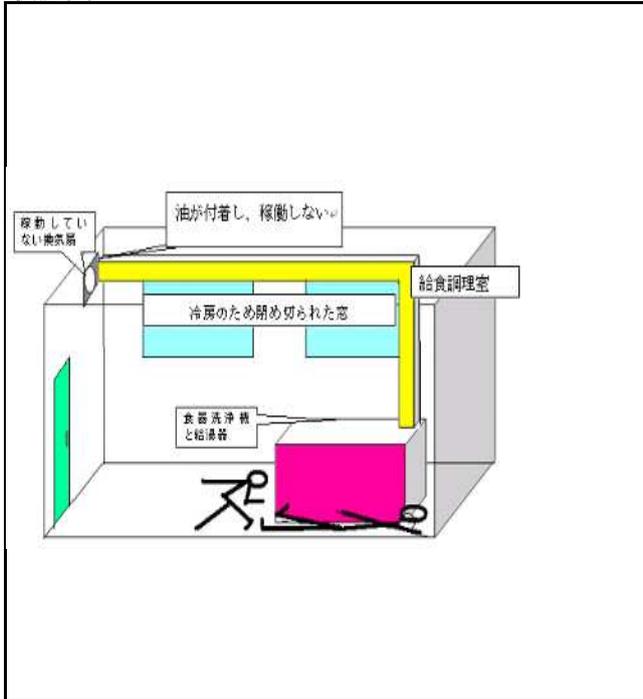
**再発防止対策**

給湯器の排気ダクトが排気口に繋げること  
給湯器運転時に換気扇を稼働すること

**災害事例 41 ガスコンロを使って一酸化炭素中毒**

業種	接客娯楽業	年齢	30代	職種	調理
災害の種類	有害物等との接触	傷病名	一酸化炭素中毒		休業 9日

**状況図**



**労働災害発生状況**

調理室において、ガスコンロを用いて社員用昼食を作っていたところ、途中で気分が悪くなった。病院で受診したところ、一酸化炭素中毒と診断された。換気扇の扉に油が付着し、換気扇が正常に開いていなかった。

**災害発生原因**

後付で換気扇の外に排気ダクトを設けたため、換気扇が能力不足となり、換気しない状況となったこと。

**再発防止対策**

換気扇は専門工事業者に相談し、換気性能が十分なものを取り付けること。

**災害事例 42 移動中の大鍋が傾き中身の高温の液体に接触**

業種	一般飲食店	年齢	50代	職種	作業員
災害の種類	高温・低温のものとの接触	傷病名	両足熱傷		休業 2ヶ月

**状況図**



**労働災害発生状況**

事業場内の厨房において、豚汁の入った大鍋を移動させる際に、大鍋の熱さと重さでバランスを崩し、大鍋を傾けてしまい、鍋の中の豚汁がこぼれ、両足にかかったもの。  
なお、手袋・ゴム長靴は着用していたものである。

**災害発生原因**

高温の液体が入った重量物を移動させる際に、台車等を使用しなかったこと。  
高温の液体が入った大鍋を取り扱う際に、前掛け等の保護衣を使用していなかったこと。

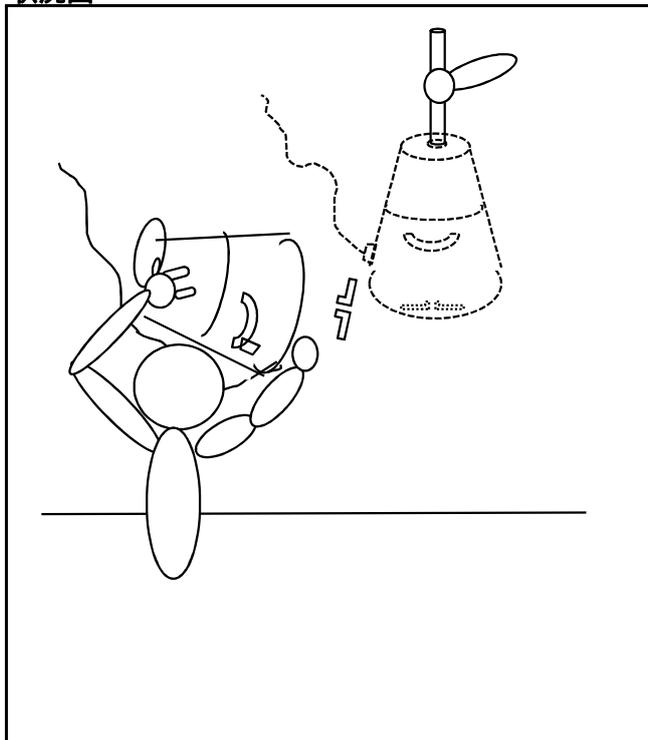
**再発防止対策**

高温の液体が入った大鍋を移動させる場合には、労働者の筋力等に応じて、台車等を使用すること。  
高温の液体が入った大鍋を取り扱う場合は、前掛け等の保護衣を正しく着用すること。  
(長靴の上部を覆うように着用すること)

### 災害事例 43 スライサーで指を切断

業種	一般飲食店	年齢	40代	職種	調理師
災害の種類	切れ、こすれ	傷病名	手指切断	休業	5ヶ月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

材料をスライサーに差し込んだところ、スライサーが倒れたため、もとに戻そうとしたところ、スライサーの刃に指が触れ、指を切断した。

#### 災害発生原因

スライサーが刃に指が届く構造であったこと。  
倒れたスライサーを運転を止めずに先に戻そうとしたこと。

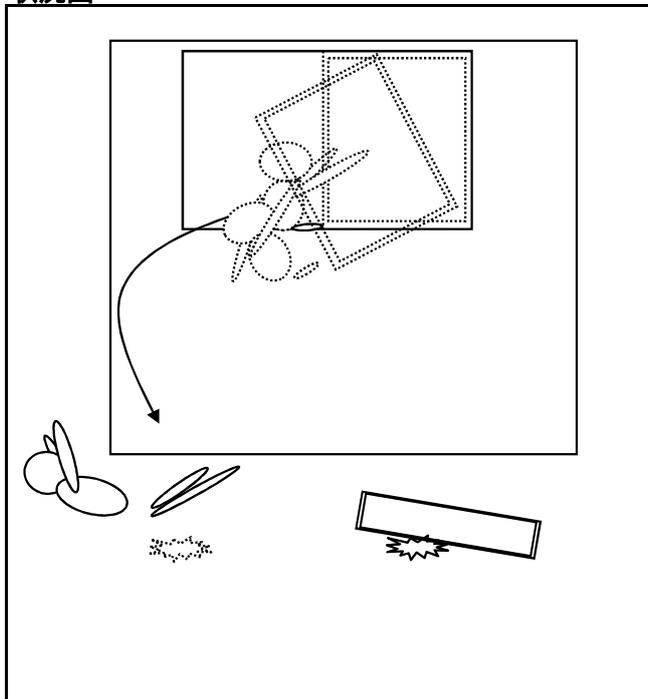
#### 再発防止対策

刃に指が届かない構造の機械を使用すること。  
修理等の作業は機械の運転を停止したことを確認後、作業を行うこと。  
機械は安定した台の上に置き、作業の際に転倒しないように固定すること。

### 災害事例 44 窓ふき作業中にバランスを崩して2階から墜落

業種	一般飲食店	年齢	50代	職種	掃除係
災害の種類	墜落、転落	傷病名	腰部骨折	休業	4ヶ月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

2階の窓の外側を、窓枠に腰掛けて拭いていたところ、突然窓が外れ、1階の庭に墜落した。

#### 災害発生原因

窓枠に腰掛けるという不安全な行動をしたこと。  
労働者の重みに耐えきれず、窓が外れてしまったこと。

#### 再発防止対策

窓の外側に手すりを設けること。  
窓の拭き掃除は、体が不安定な状態で行わない。

災害事例 45

滑り台から飛び降り着地に失敗して足を骨折

業種	社会福祉施設	年齢	44歳	職種	保母	
災害の種類	激突(飛び降り事故)	傷病名	足首骨折		休業	5ヶ月

状況図



労働災害発生状況

滑り台の側面の左側にジャンプした。その際、滑り台の淵からまだ右足が抜け切っていないままに着地し、左足を強くひねって足首を骨折した。

災害発生原因

滑り台からジャンプしたが、ジャンプが低く台の淵から足が抜け切らなかったこと

再発防止対策

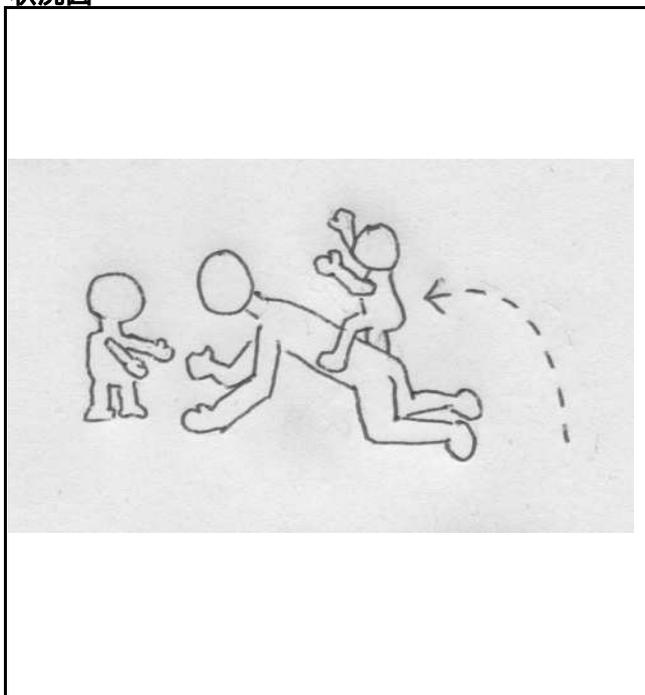
すべり台からジャンプせず歩いて降りること

災害事例 46

保育中に園児と接触し腰部を捻挫

業種	社会福祉施設	年齢	30代	職種	保育士	
災害の種類	その他	傷病名	腰部捻挫		休業	2ヶ月

状況図



労働災害発生状況

保育園内の遊戯室において、一歳児の保育中、うつ伏せの姿勢で一人の園児の相手をしていたところ、不意に別の園児(体重約12kg)が突然腰部に上から乗ってきた際、腰部に痛みを生じたもの。

災害発生原因

被災者は正面の園児の相手をしていたため、他の園児が後方から腰部に乗ろうとしていることに気付かず、構えることができなかったこと。

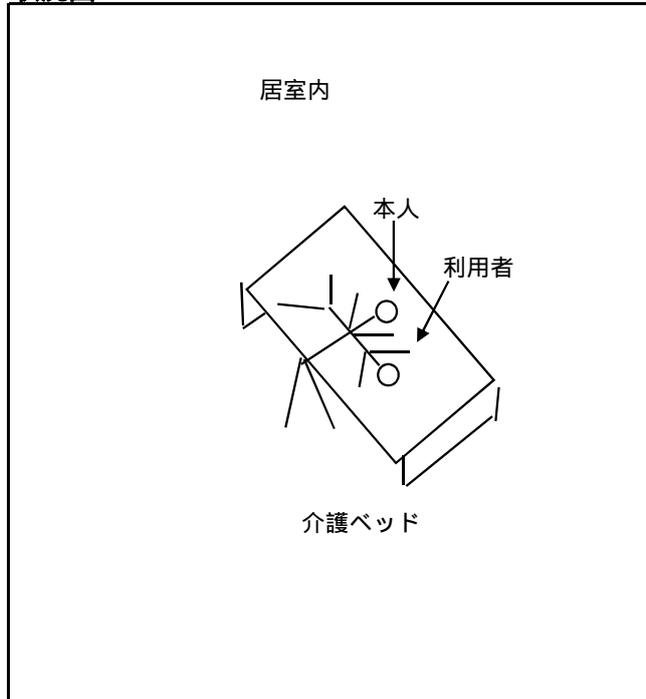
再発防止対策

うつ伏せ姿勢など低い姿勢をとるときは、園児が上に乗ってくることを十分想定させること。

## 災害事例 47 福祉施設にて利用者をベッドから起こそうとして腰痛

業種	社会福祉	年齢	50代	職種	介護士
災害の種類	動作の反動	傷病名	急性腰痛症	休業	90日

### 状況図



### 労働災害発生状況

利用者をベッドから起こすため、体をひねった状態で作業していた際に、利用者の体がのけぞり腰部を痛めた。

### 災害発生原因

体をひねった状態で作業したこと。  
利用者の体位変化を想定していなかったこと。

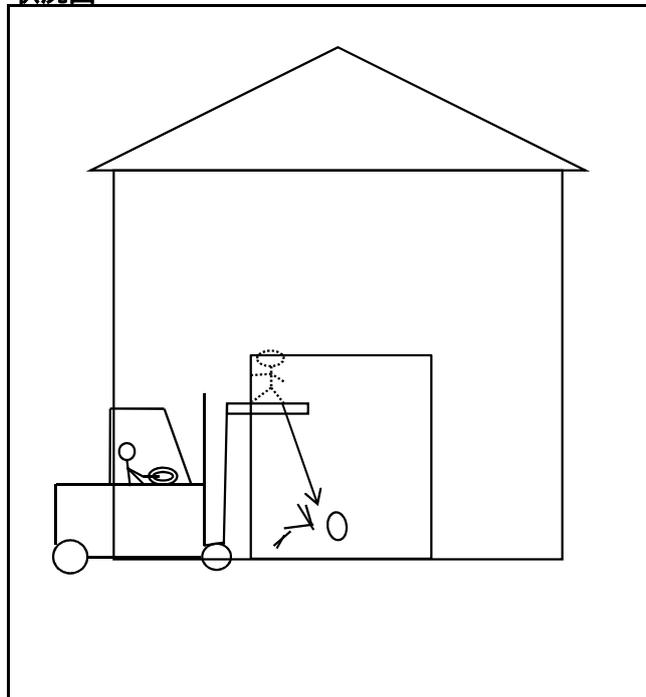
### 再発防止対策

不安定な体勢を取って作業しないこと。  
必要に応じて複数人での作業、保護ベルト着用等を行うこと。

## 災害事例 48 フォークリフト上のパレットから墜落

業種	畜産業	年齢	50代	職種	鶏舎作業員
災害の種類	墜落、転落	傷病名	右足踵骨折	休業	2ヶ月

### 状況図



### 労働災害発生状況

フォークリフトでパレットを1.5mほど上昇させ、当該パレットに乗って社屋の屋根修理をしていたところ、足を滑らせパレットから墜落した。

### 災害発生原因

フォークリフトを主たる用途以外の用途（労働者の昇降）に使用したこと。  
墜落防止措置を講じなかったこと。

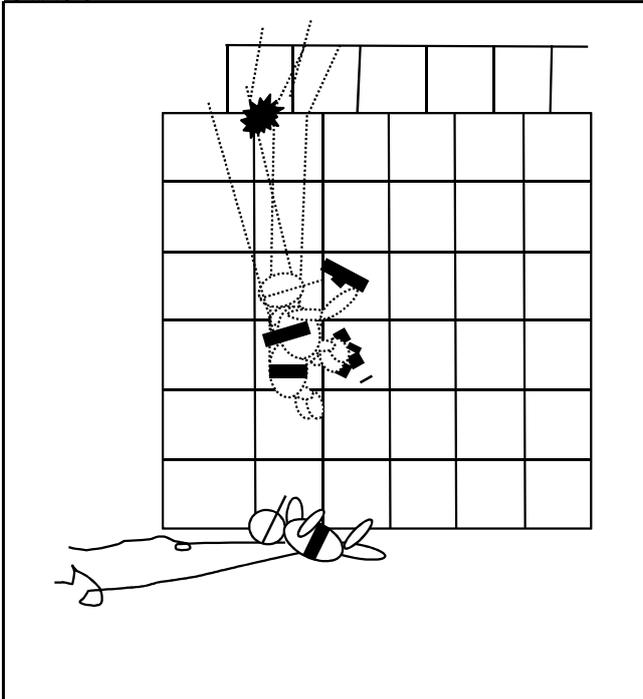
### 再発防止対策

フォークリフトを主たる用途以外の用途に使用しないこと。  
足場や高所作業車を使用して屋根修理を行わせること。

### 災害事例 49 ビルの窓ガラス清掃員が墜落

業種	ビルメンテナンス業	年齢	30代	職種	清掃員
災害の種類	墜落、転落	傷病名	右足・腰部骨折	休業	6ヶ月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

プランコに乗って、ビルの窓ガラス清掃を行っていたところ、プランコを吊っていたロープが建物と擦れて切断し、2階部分から墜落した。

#### 災害発生原因

プランコを吊っていたロープが切断したと。  
ライフラインに設置されていた墜落阻止器具が有効に作動しなかったこと。

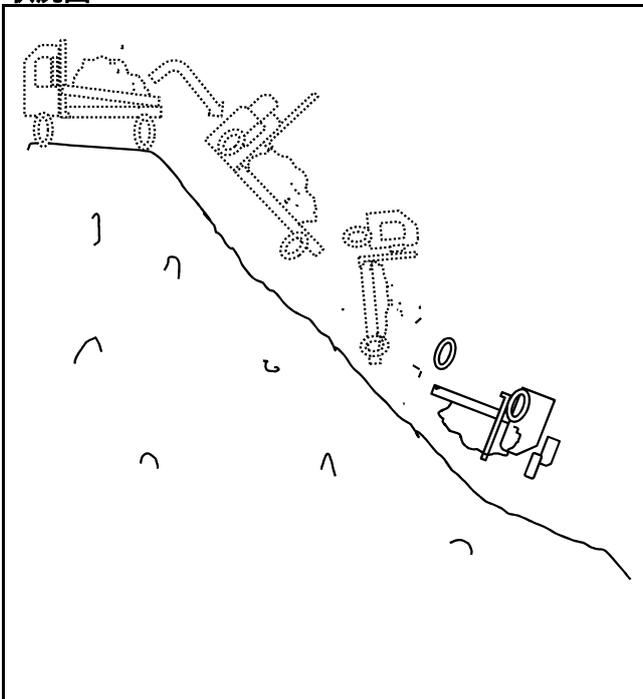
#### 再発防止対策

建物との擦れによりロープが切断することのないよう作業計画を立てること。  
作業前にロープ及び墜落阻止器具の状態を点検を行うこと。

### 災害事例 50 ダンプトラックごと斜面から転落

業種	採石業	年齢	60代	職種	特殊車両運転手
災害の種類	墜落、転落	傷病名	胸椎・鎖骨骨折	休業	2ヶ月

#### 状況図



#### 労働災害発生状況

製品の砕石を40tダンプで運んでいる際、ダンプアップするためにバックで進行中、路肩をオーバーランし盛土部分に乗ってしまい、ダンプごと転落した。

#### 災害発生原因

ダンプが盛土部分に乗り、その重みで盛土が崩れたこと。  
荷降ろし停車位置を知らせるための措置がなされていなかったこと。

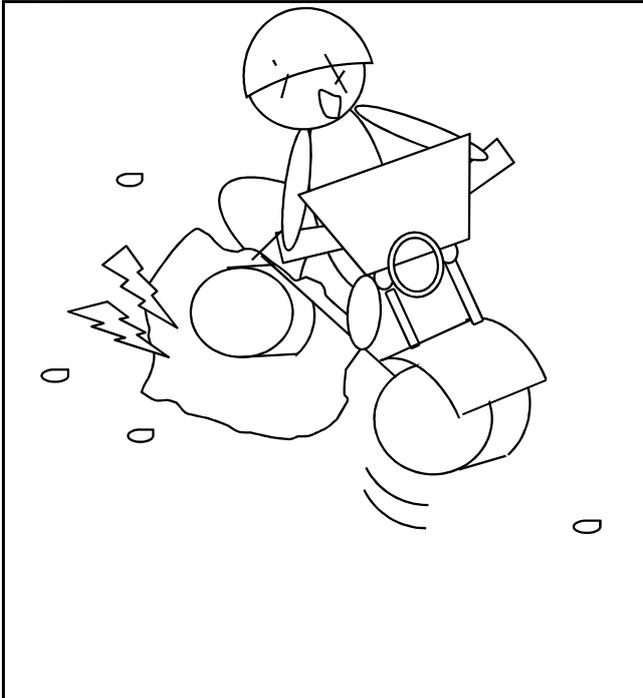
#### 再発防止対策

停車位置を知らせるための標識やタイヤ止めを設けること。

## 災害事例 51 原動機自転車を発進時、共に転倒

業種	通信業	年齢	32歳	職種	営業
災害の種類	転倒	傷病名	肩骨折	休業	3ヶ月

### 状況図



### 労働災害発生状況

原動機付自転車を、右にハンドルを切り発進させた際、後輪が左側にスリップし車体と共に倒れた。  
路面は雨で濡れていた。

### 災害発生原因

路面が濡れていたにもかかわらず、ハンドルを切り発進させたため、後輪がスリップしたこと。

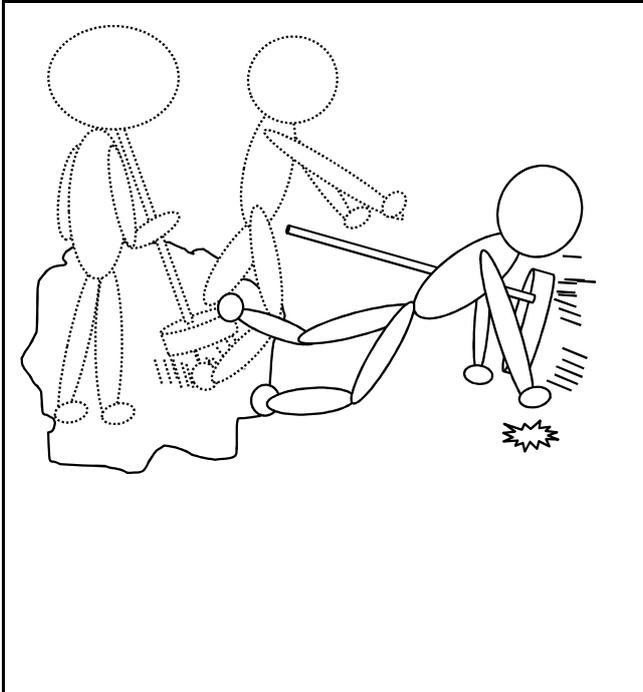
### 再発防止対策

路面の状態に合わせた運転を行うこと。  
発進時にハンドルを切っていると、スムーズに動かないため、発進後にハンドルを切ること。

## 災害事例 52 清掃中、足を滑らせ転倒

業種	旅館業	年齢	63歳	職種	清掃係
災害の種類	転倒	傷病名	手首骨折	休業	2ヶ月

### 状況図



### 労働災害発生状況

清掃作業中、床が濡れていたことに気付かず、足を滑らせ転倒した。

### 災害発生原因

床が濡れていたことに気付かなかったこと。

### 再発防止対策

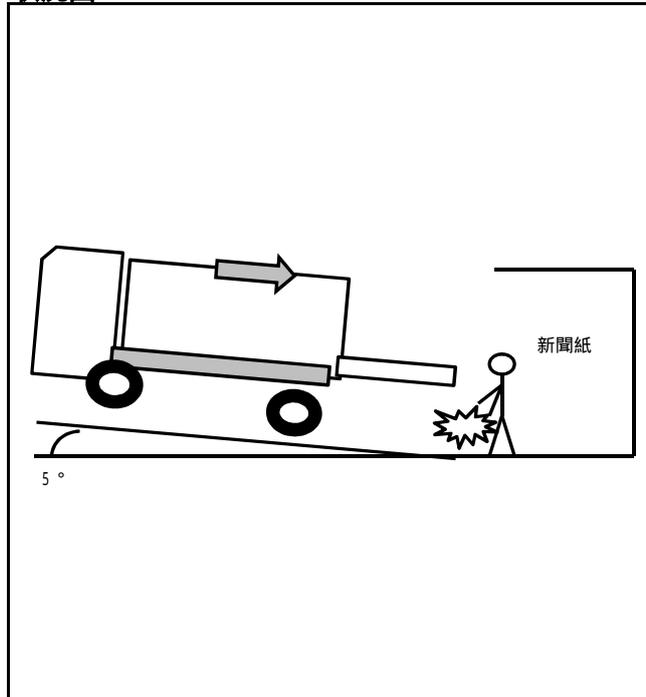
清掃作業では床が水などで濡れていることは想定されるため、それを念頭に置いた作業を行うこと。  
作業員の履物をすべりにくいものにするこ  
と。

災害事例 53

停車中の車両が動き出し激突される

業種	その他の廃棄物処理業	年齢	40代	職種	作業員
災害の種類	激突され	傷病名	左骨盤骨折、右骨盤骨折、恥骨骨折		休業 2ヶ月

状況図



労働災害発生状況

倉庫内において、ゴミ収集車を停車し、サイドブレーキをかけたうえで降車し、新聞紙をゴミ収集車に積み込む作業を行っていたところ、ゴミ収集車が後退し、荷積カバーと新聞紙にはさまれた。

ゴミ収集車を停車した個所に傾斜（約5°）があった

災害発生原因

運転手が運転席から離れる際に車両の運転を完全に停止せず、逸走を防止するための歯止め等を設置していなかったこと。

サイドブレーキの利きが悪かったこと。

再発防止対策

運転手が運転席から離れる際には、車両の運転を完全に停止させ、逸走を防止するための歯止め等を確実に設置すること。

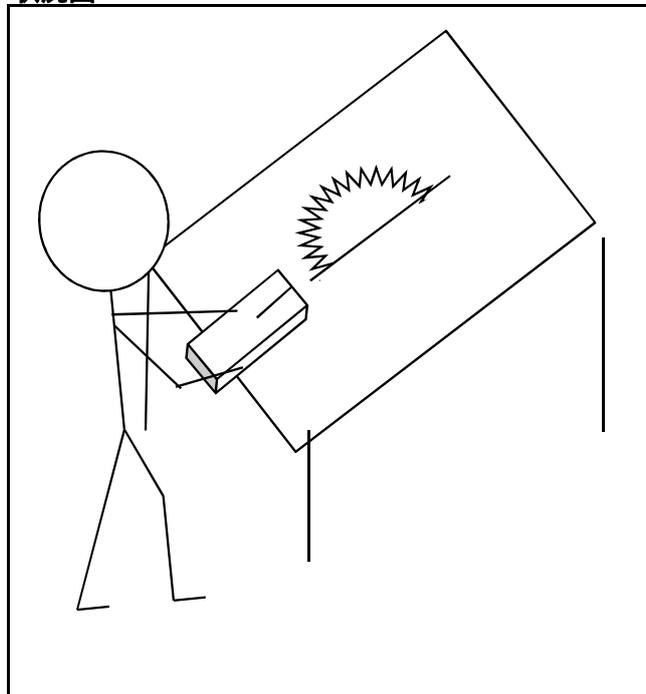
サイドブレーキを調整すること。

災害事例 54

丸のこ盤で、指を切断

業種	産業廃棄物処理業	年齢	60代	職種	作業員
災害の種類	切れ、こすれ	傷病名	手指切断		休業 2ヶ月

状況図



労働災害発生状況

丸のこ盤を使用し、木材を切断していたところ、材料を支えていた左手が歯に触れ、指を切断した。

災害発生原因

丸のこ盤に、歯の接触予防装置が設けられていなかったこと。

小物材料を手工具等を使用せず、手で送給していたこと。

再発防止対策

丸のこ盤に、歯の接触予防装置を設けること。

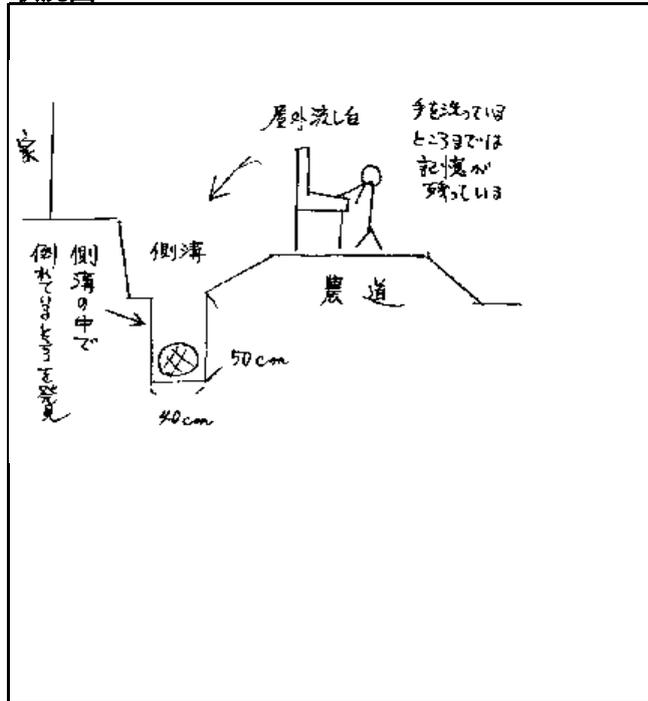
小物材料は手工具等を使用して送給すること。

災害事例 55

発掘調査現場にて熱中症

業種	教育研究業	年齢	60代	職種	発掘作業員
災害の種類	高温・低温の物との接触	傷病名	頸髄損傷		休業 2ヵ月

状況図



労働災害発生状況

炎天下の工事現場において、被災者が水を飲み、休憩を取ろうとした時に意識を失ない、倒れているところを他の作業員により発見された。手足に力が入らず、意識がもうろうとした状態であった。

災害発生原因

気温が高く、熱中症が発生しやすい状況であった。  
作業の責任者が、熱中症に関する危険性を十分認識していなかった。

再発防止対策

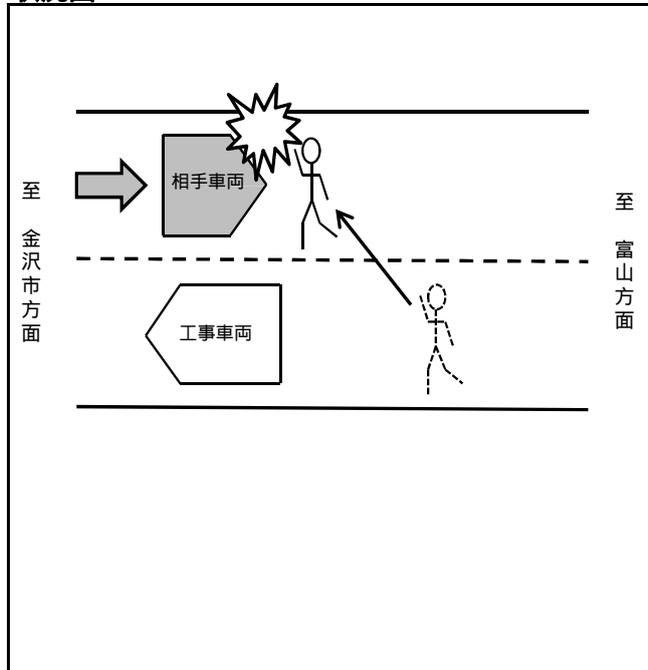
気象予報などから熱中症の発生を予測し発生の可能性がある場合は必ず熱中症対策をとること。  
労働者に、熱中症に関する労働衛生教育を実施すること。

災害事例 56

道路横断中にひかれる

業種	警備業	年齢	50代	職種	交通誘導員
災害の種類	交通事故(道路)	傷病名	骨折		休業 2ヶ月

状況図



労働災害発生状況

交通誘導業務に就くために、道路を横断しようとしたところ、工事車両の影になり見えなかった乗用車が左側から走行して来てはねられた。

災害発生原因

道路を横断する際に、左方の確認が不十分であったこと。

再発防止対策

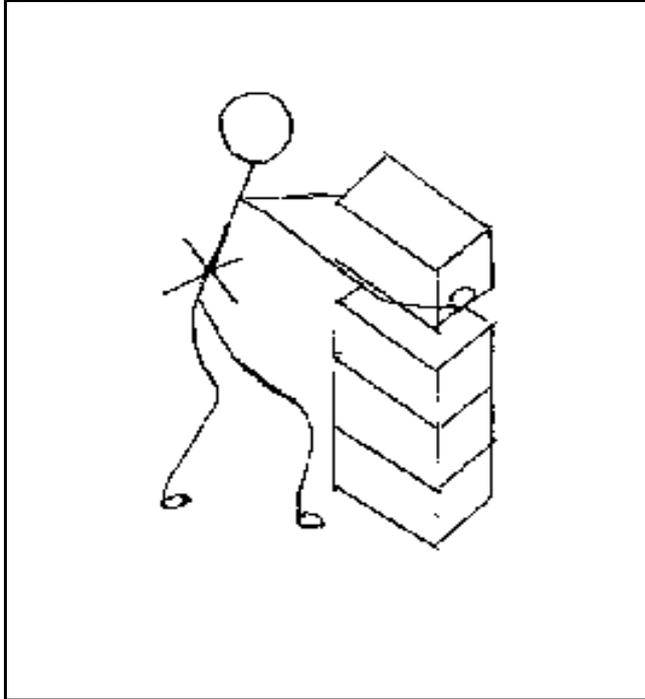
道路の横断は、指差呼称等により左右を十分に確認したうえで横断させること。

災害事例 57

コンテナを持ち上げようとして腰痛

業種	その他の事業	年齢	40代	職種	営業
災害の種類	動作の反動、無理な動作	傷病名	腰椎椎間板ヘルニア		休業 60日

状況図



労働災害発生状況

店舗内において、商品の数を調べている作業中、折りたたみ式のプラスチック製コンテナ（中身は缶飲料で重さ20kg）を4段に積み上げたところ、中腰の状態を持ち上げたため腰に痛みが走った。

災害発生原因

中腰の不自然な状態で持ち上げたこと。

再発防止対策

腰部に負担のかかる中腰の不自然な姿勢を取らないようにする。  
持ち上げる動作は、膝を軽く曲げ、呼吸を整え、下腹部に力を入れながら行うこと。